

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

時間帯別電灯契約用
季節別時間帯別電灯契約用

東芝ヒートポンプ給湯機 (家庭用)

取扱説明書

自然冷媒CO₂ヒートポンプ給湯機

東芝エコキュート

システム形名

(ユニット形名との対照表は、24～25ページをご覧ください)

※リモコンは全機種別売です。

給湯専用パワフル給湯タイプ

一般地向け HWH-F375H HWH-F465H

給湯専用タイプ

一般地向け HWH-F375 HWH-F465

HWH-F565

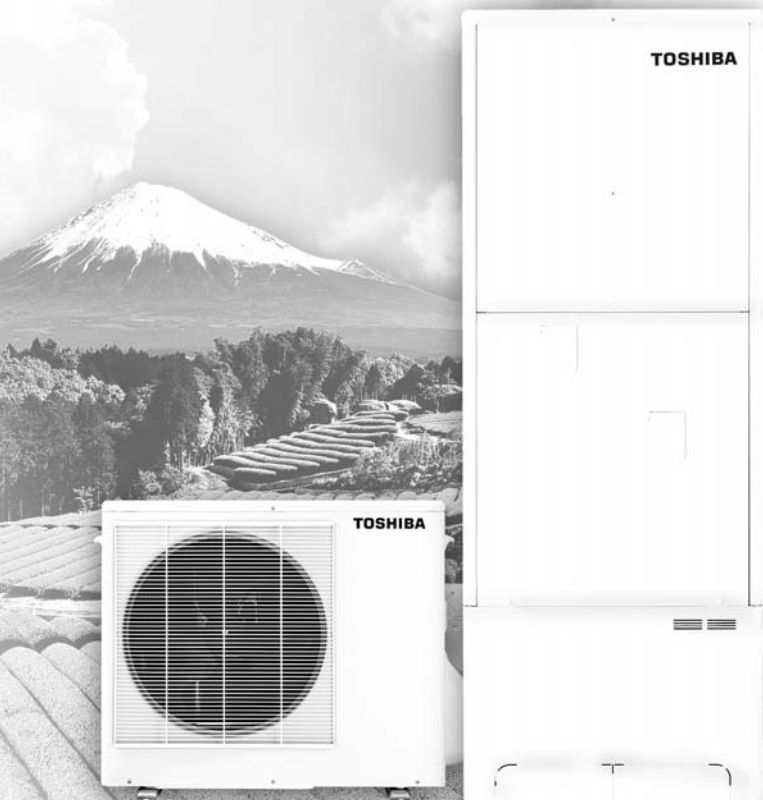
HWH-F375-Z HWH-F465-Z

HWH-F375-GZ HWH-F465-GZ

寒冷地向け HWH-F465N

※システム形名の □ 部分でタンクの容量がわかります。

HWH-F □□ 5 *** 37:370L (タイプ)
46:460L (タイプ)
56:560L (タイプ)

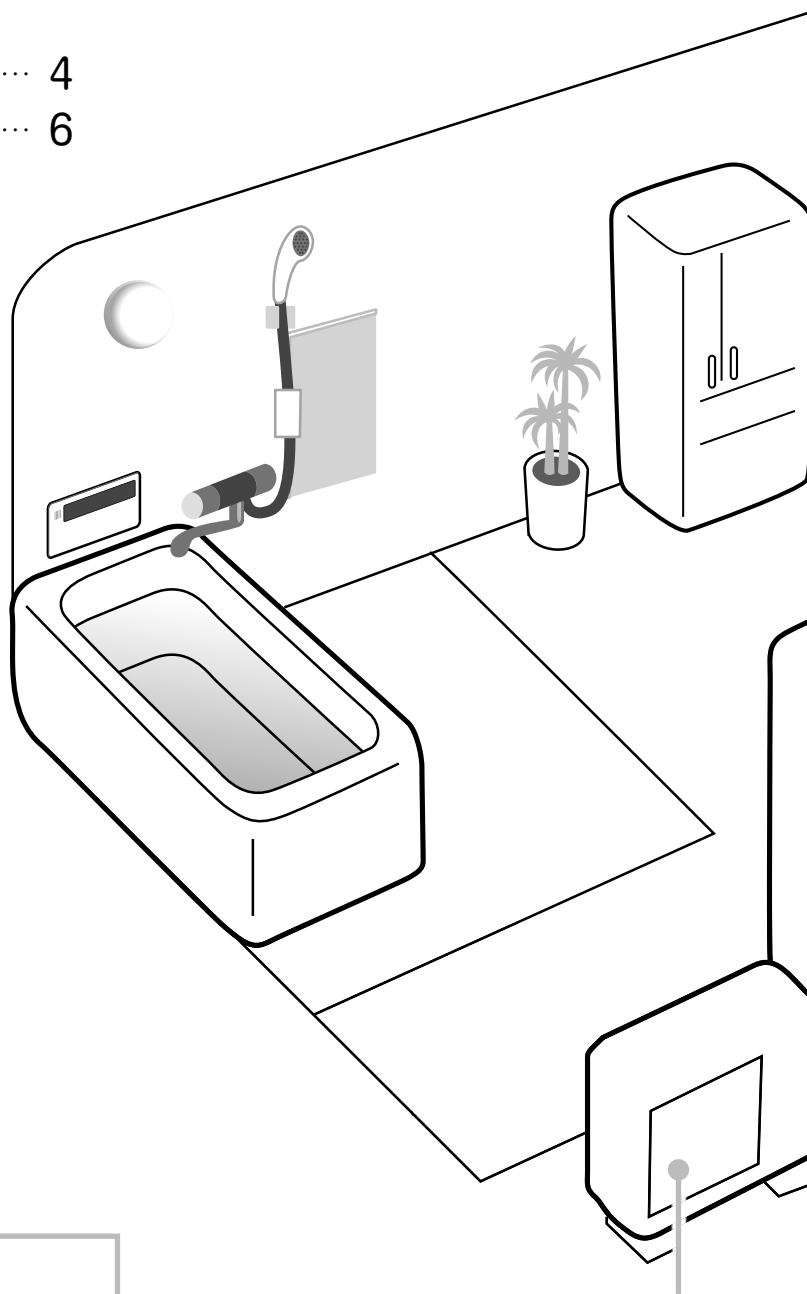


- このたびは東芝ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をお読みいただき、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書、工事説明書(据付作業確認書)、使いかたガイドを販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

日本国内専用
Use only in Japan

エコキュートで省エネ&快適生活

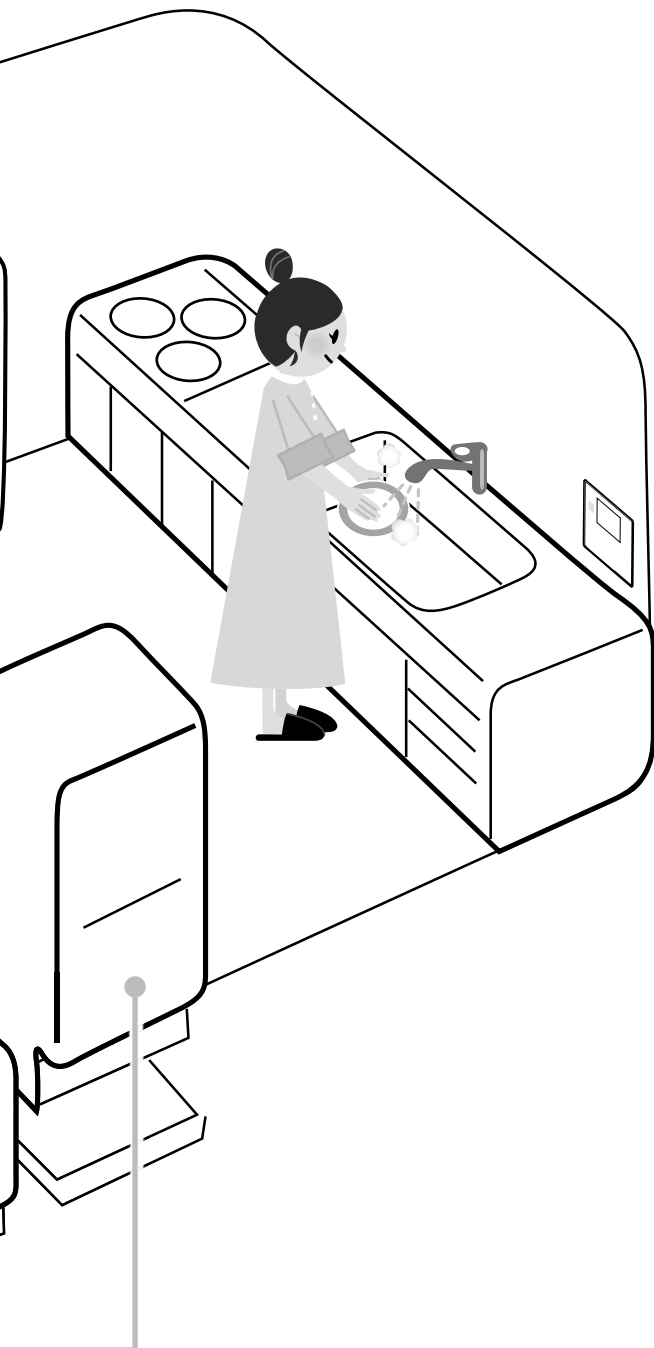
安全上のご注意	4
エコキュートの仕組みと特長	6



各部の名前とはたらき

貯湯ユニット/ヒートポンプユニット	8
-------------------	---

本書「取扱説明書」では、エコキュートの詳しい使いかたを説明しています。
基本的な操作を知りたいときは別冊の各リモコン専用の「使いかたガイド」を参照してください。



各部の名前と
はたらき

お手入れ

こんな
ときには

お問い合せ
の前に

お手入れ

貯湯ユニットへの水の貯めかた	10
貯湯ユニットのお手入れ	12
点検する	13

こんなときには

凍結のおそれがあるとき	14
リモコンのお手入れ	15
停電のとき	16
断水や水道工事のとき	17
非常時にタンクの水を取り出すとき	18
長期間使わないとき (タンクの排水・配管の水抜き)	20

製品仕様	24
------	----

お問い合わせの前に




よくあるお問い合わせ	26
お知らせコードが表示されたとき	32

5年保証に関する免責事項	35
--------------	----


安全上のご注意

必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。
- 設置にかかわる注意事項は、工事説明書に記載しておりますので、そちらも合わせてご確認ください。
- 記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

表示の説明	誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。	
 警告	「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。	 注意
		「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。
図記号の説明	守っていただかなければならない内容を、図記号で示しています。	
	禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で指示します。	
		指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や絵や文章で指示します。

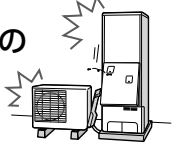
警告


 **分解禁止** 分解・修理・改造・移設しない

- 不備があると火災・感電・水漏れの原因になります。(修理は販売店または工事店にご依頼ください)

ヒートポンプユニットのバルブカバーや貯湯ユニットの前面カバーは開けない

- ショート・感電の原因になります。

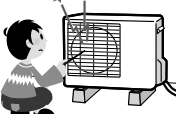



 **禁止** 機器の近くにガス類の容器や引火物を置かない

- 発火の原因になります。


ヒートポンプユニットの吹出口や吸込口に指や棒などを入れない

- 内部でファンが回転していることがあるため、けがの原因になります。




 **接触禁止** ヒートポンプ配管や接続口には触れない

- やけどの原因になります。



逃し弁点検時には、逃し弁レバー以外に触れない

- やけどの原因になります。




貯湯ユニットの排水時は熱湯が出るがあるので、お湯に触らない

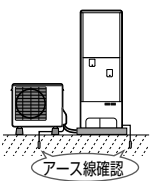
- やけどの原因になります。


給湯時は蛇口に触れない

- やけどの原因になります。


 アース工事がされていることを確認する

- 故障や漏電のときに感電の原因になります。(販売店または工事店にご確認ください。)

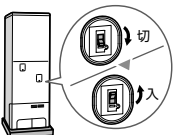


 **ぬれ手禁止** 漏電しゃ断器はぬれた手で操作しない

- 感電の原因になります。

 **指示** 漏電しゃ断器の動作を定期的に確認する(年に2~3回)

- 故障のまま使用すると、感電や火災の原因になります。




お湯の使い始めはしばらくお湯に触れない

- 空気の混じった熱いお湯が飛び散り、やけどの原因になります。特に朝の使い始めはご注意ください。

お湯を使うときはお湯の温度を確認する

- 入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確認しないとやけどの原因になります。



給湯温度を変更するときは、他でお湯を使っていないことを確認する

- やけどの原因になります。

お湯を出し始めるときは必ず水を出しながらお湯を出す

- お湯だけ出すと、高温のお湯でやけどをする原因になります。

警告



異常・故障時は、すぐに使用を中止する

指示

- 異常のまま使用すると火災・感電・やけどの原因になります。
- 漏電しゃ断器を「切」にして、お買い上げの販売店(工事店)または、東芝電気給湯機ご相談センターへご連絡ください。《異常・故障時の例》
- 排水口から常にお湯が流れている。
- 設置場所が常にぬれている。
- 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
- 焦げくさいにおいや異常な音・振動がする。
- お湯の出が悪かったり、早くなる。

注意



禁止

機器の上に乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えない

- 落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。

そのまま飲用しない

- 長期間の使用によりタンク内に水あかかたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わったりすることがあります。飲用される場合は以下の点に注意し、必ず、一度沸とうさせてください。
 - ・必ず水質基準に適合した水を使う。
 - ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまってた水)は、雑用水として使用する。
- 固形物や変色、にごり、異臭があった場合は、飲用には使用せず、すぐに点検を依頼する。

貯湯ユニットの水抜き時は熱湯を直接排水しない

- やけどや排水管破損の原因になります。
- 混合水栓のお湯側からお湯を使いきってから排水してください。

高圧洗浄機などで水洗いはしない

- 漏電による火災や感電の原因になります。

ヒートポンプユニットの据付台は傷んだ状態で使わない

- ヒートポンプユニットの落下、転倒やけがの原因になります。

凍結のおそれがあるときは電源を切らない

- 電源を切る場合は、機器の水抜きをしてください。水抜きが不十分だと凍結により配管や部品が破損し、水漏れの原因になります。特に長期不在になる別荘などご注意ください。



接触禁止

ヒートポンプユニットのアルミフィンには触れない

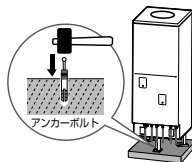
- けがの原因になります。



指示

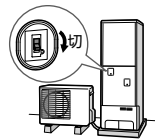
据え付け後は、次のことを確認する ※販売店(工事店)にご確認ください。

- 設置床面が防水処理・排水処理がされていること
 - ・水漏れが起きたとき大きな被害につながる原因になります。
- 貯湯ユニットの脚が、アンカーボルトで固定されていること(2階以上に据え付ける場合は、上部を別売部品の耐震強化金具で固定されていること。560Lタイプは、2階以上には据え付けないこと。)
 - ・地震などにより転倒してけがをすることがあります。
- 凍結防止対策(配管の保温工事、不凍結水栓、凍結防止ヒーターなど)がされていること
 - ・正しく工事されていないと、配管が破損して水漏れやけがの原因になることがあります。



お手入れ時・点検時は、漏電しゃ断器を「切」にする

- ヒートポンプユニットのファンが回転している場合があり、けがの原因になることがあります。

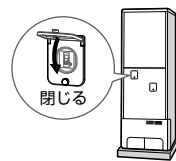


逃し弁が作動することを定期的に確認する

- 正しく作動しないと、水漏れの原因になることがあります。

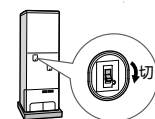
点検・操作の後は、貯湯ユニットの電源扉と逃し弁扉は閉じ、ねじを締める

- 雨やごみが入ると漏電による火災や感電の原因になることがあります。



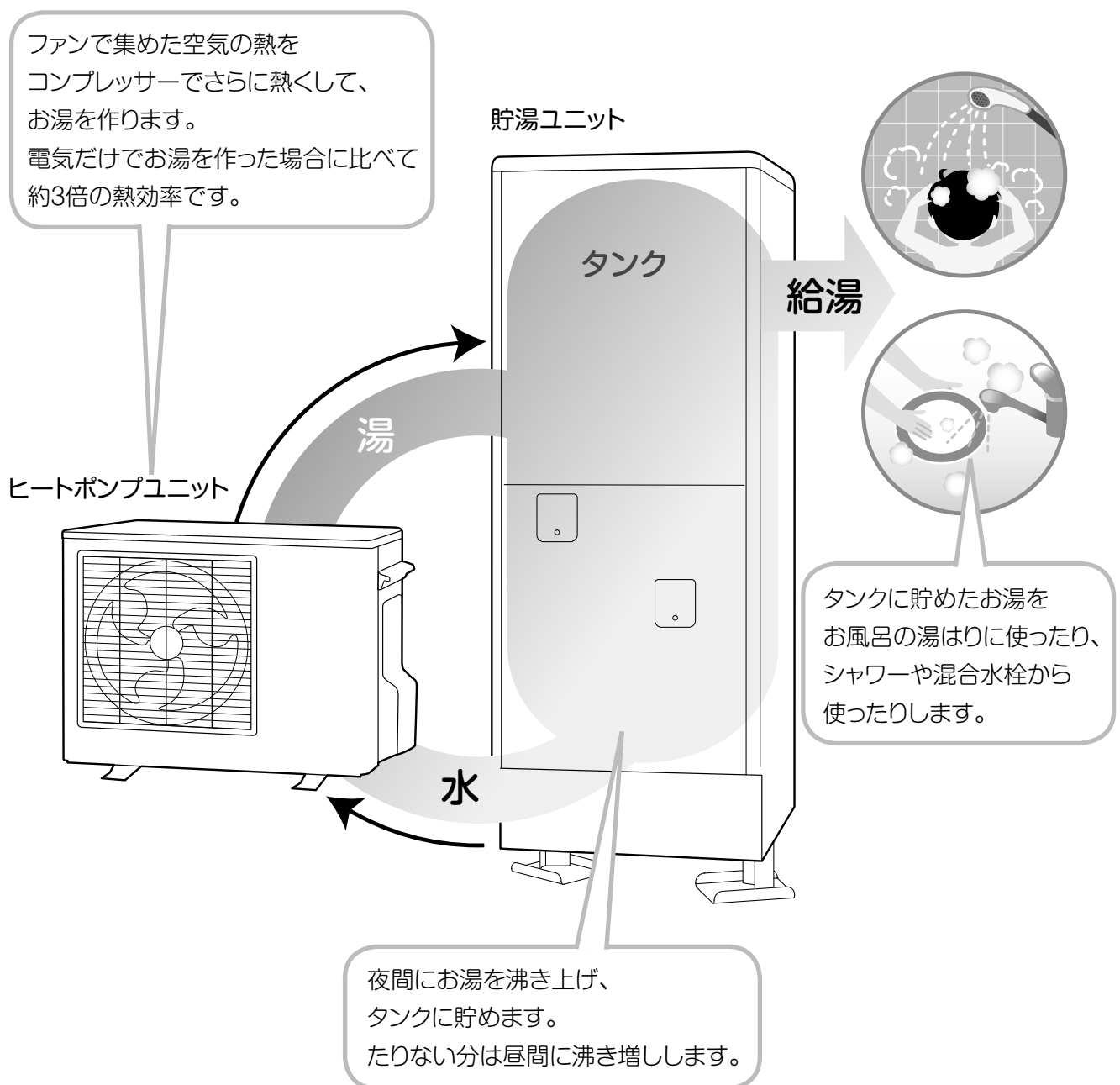
1ヵ月以上使わないときは、漏電しゃ断器を「切」にして、タンクの排水(水抜き)をする

- 水質が変化し、飲用すると健康を害するおそれがあります。



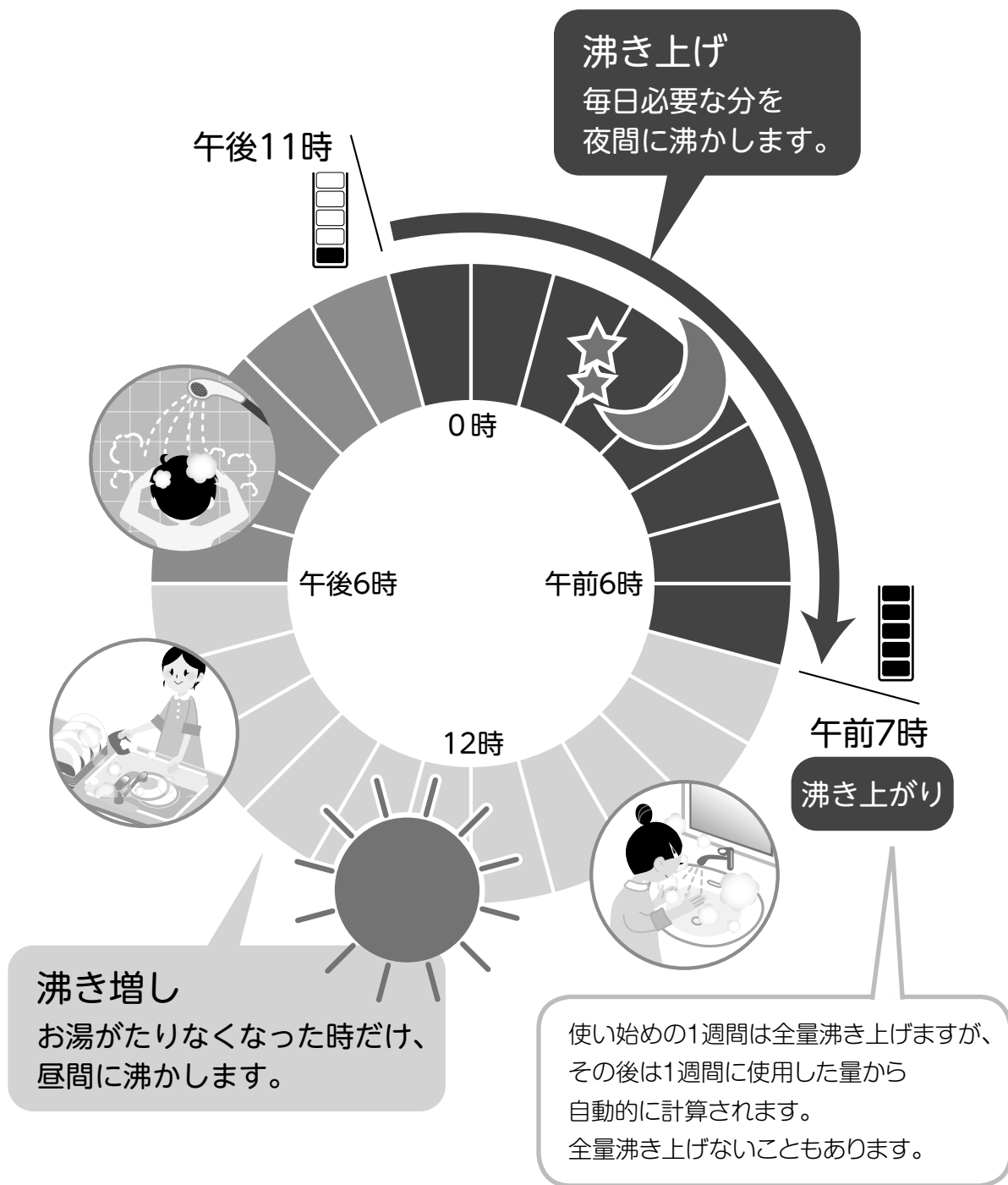
エコキュートの仕組みと特長

省エネPOINT 1 空気の熱でお湯を作ります



エコキュートは、空気中の熱と電気を利用してお湯を沸かします。
空気中の熱を使うことで省エネにつながるだけでなく、主に夜間電力で
お湯を沸かして貯めておくため、給湯にかかるコストも削減できます。

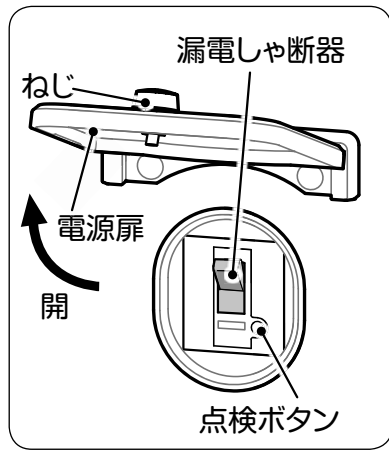
省エネPOINT 2 電気代の安い夜間に沸かします



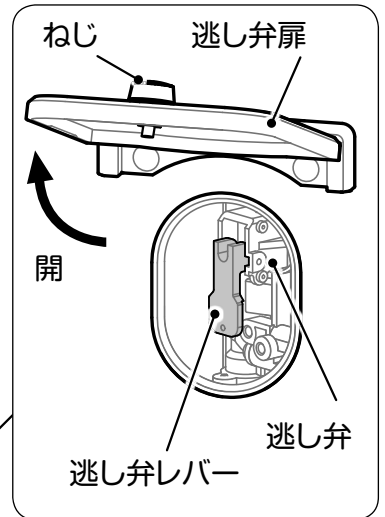
貯湯ユニット/ ヒートポンプユニット

説明のため、現場施工部品を組み込んだイラストになっています。

貯湯ユニット／ヒートポンプユニット

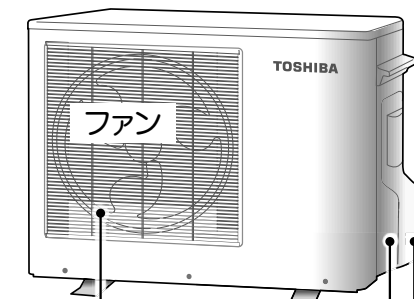


貯湯ユニット (370L,460Lタイプ)



安全上のご注意ラベル
お読みいただきお守りください。

ヒートポンプユニット



空気の出出口

アース端子
(バルブカバーの
中にあります。)

バルブカバー

点検扉

ヒートポンプ
配管

排水栓扉

排水トラップ

給水止水栓

貯湯ユニットに接続されている水道(給水)配管の途中に
設置されています。

製品に付属されていないため、
給水止水栓の取付位置や止水栓の形状は
ご家庭ごとに異なります。

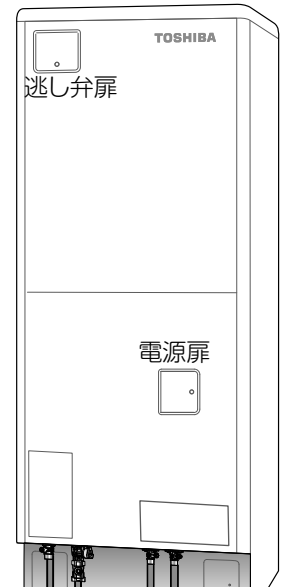
脚部カバーの中に設置されている場合もあります。

定格銘板
この製品の形名を記載
しています。

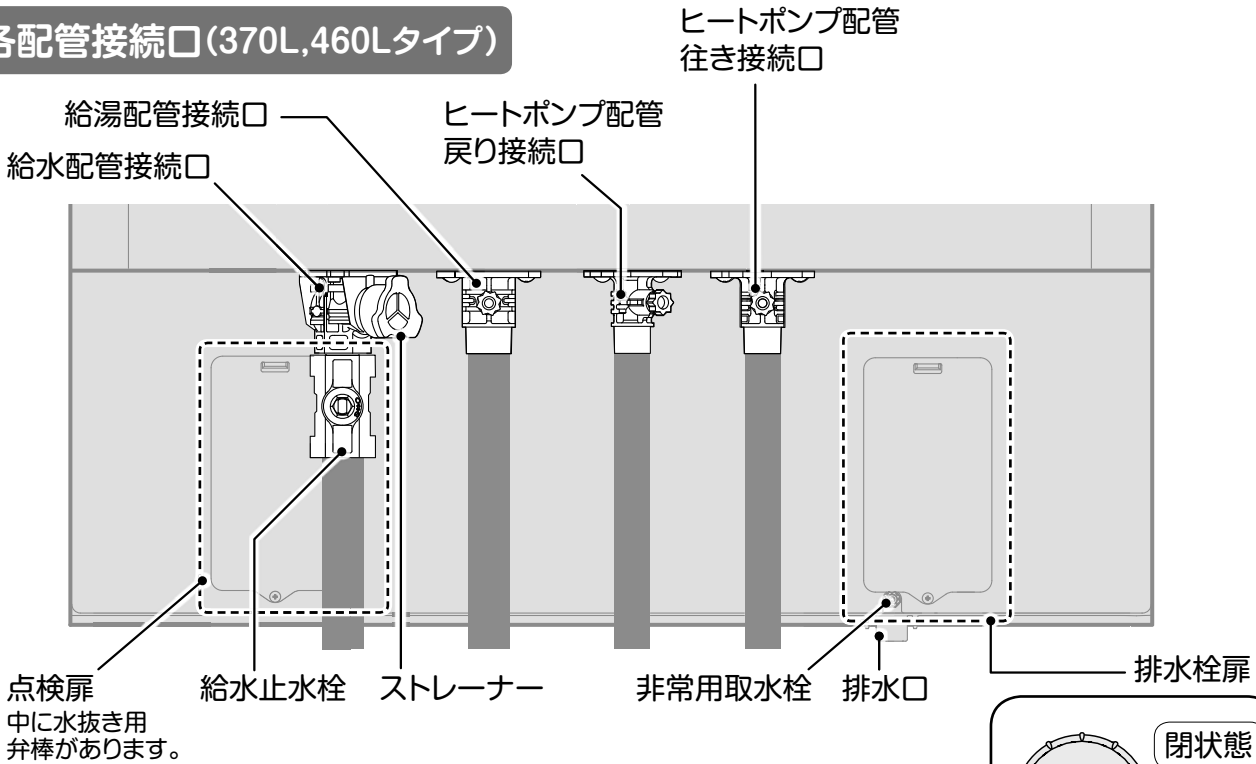
各配管接続口
(次ページ)

貯湯ユニット (560Lタイプ)

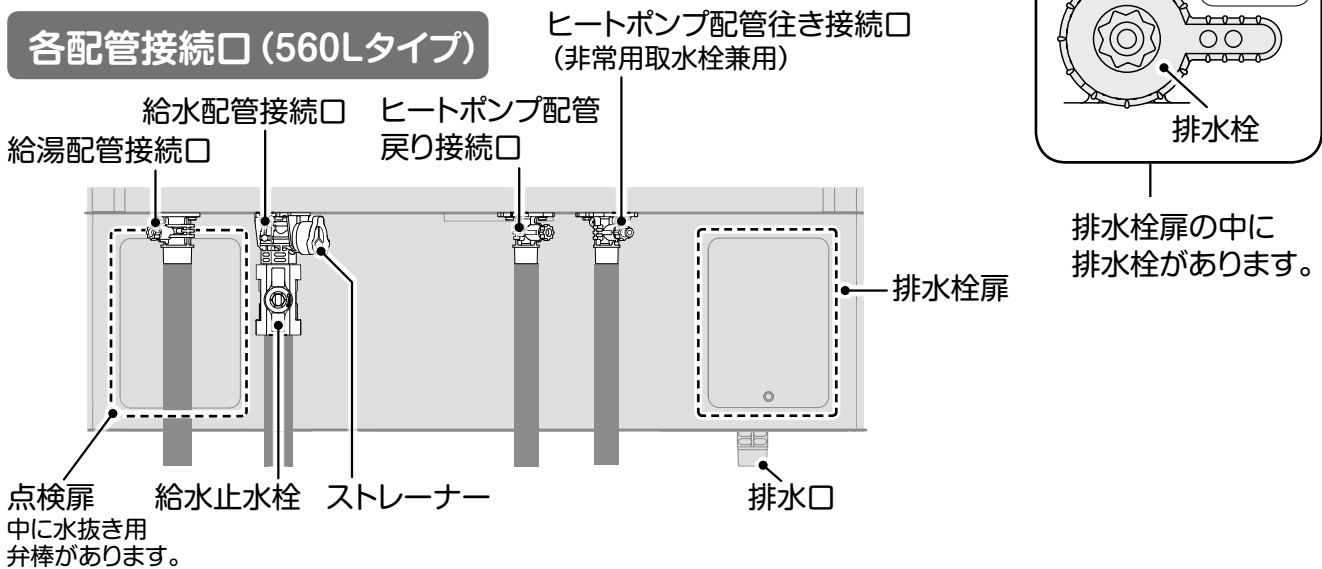
※電源扉と逃し弁扉の
位置が異なります。



各配管接続口(370L,460Lタイプ)



各配管接続口(560Lタイプ)

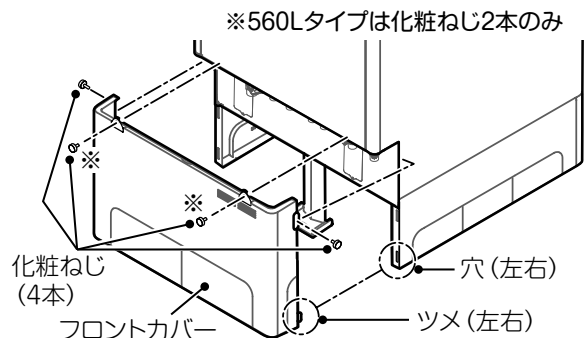


脚部カバー(別売部品)を取り付けている場合

お手入れや点検・水抜き作業などは脚部カバーのフロントカバーを取りはずしてから行ってください。

取りはずしかた
化粧ねじをはずし、
フロントカバーを
手前に引く。

取り付けかた
左右の穴(各1カ所)に
フロントカバーのツメを合わせ、
化粧ねじにて固定する。



貯湯ユニットへの水の貯めかた

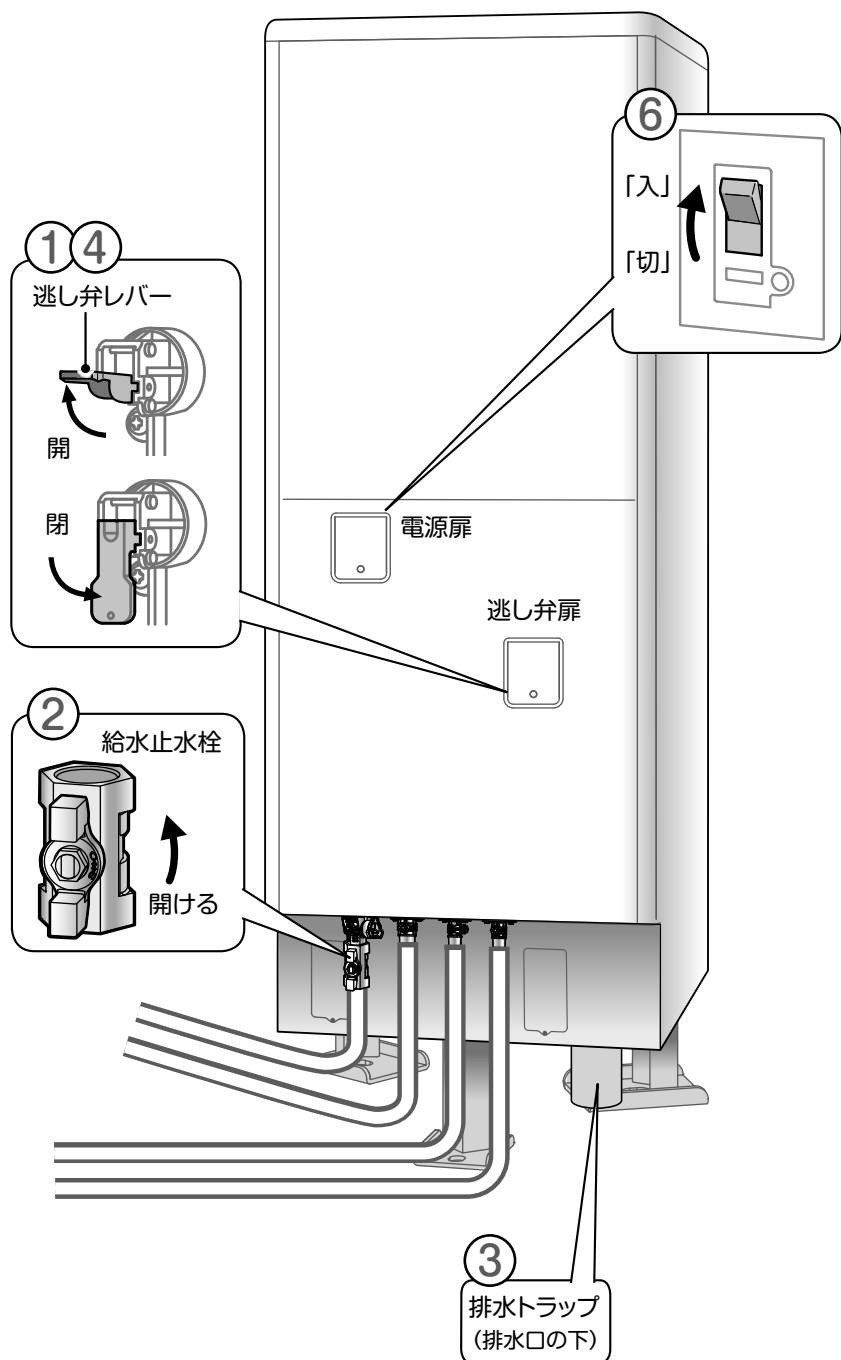
タンクが空になっていると、混合水栓のお湯側を開いても、お湯（水）が出ません。
下記操作を行ってタンクに水を貯めてください。

お手入れ

貯湯ユニットへの水の貯めかた

貯湯ユニット

- 1 逃し弁を開け、
逃し弁レバーを上げる
(逃し弁が開きます。)
● 逃し弁を開けないと、
確実に給水できません。
- 2 給水止水栓を開ける
● 給水止水栓は、貯湯ユニットに
接続されている水道（給水）配管
の途中に設置されています。
● 給水止水栓の形状は、止水栓の
タイプにより異なります。
- 3 排水口から連続して勢いよく
水が出ることを確認する
● 給水止水栓を開けてから、
20～40分程度かかります。
● 排水口が見えないときは、
水の音で確認してください。

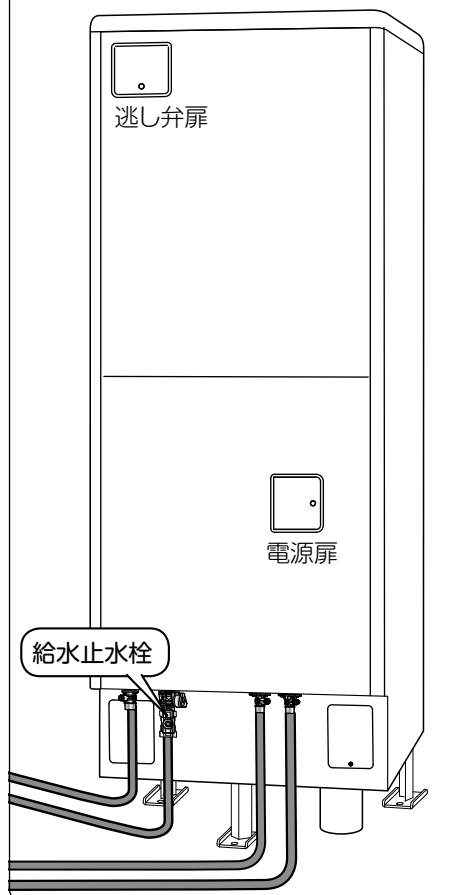


給水時について

- ・タンク内の空気の排出音がありますが、故障ではありません。(満水になると音はしなくなります。)
- ・排水口から少量の水が出る場合がありますが、故障ではありません。

560Lタイプ

※電源扉と逃し弁扉・給水止水栓の位置が異なります。



- 4** 逃し弁レバーを戻す
(逃し弁が閉じます。)
- 逃し弁レバーを戻すと、水も止まります。
 - 逃し弁扉を閉じ、ねじを確実に締めます。

- 5** 混合水栓のお湯側を開く
(下図)
- 水が連続的に出ることを確認します。
 - 確認できたら、混合水栓を閉じます。

- 6** 電源扉を開け、漏電しゃ断器を「入」にする
- 電源扉を閉じ、ねじを確実に締めます。

- 7** リモコンの時刻(日付)を合わせる
- 『使いかたガイド』
(ボタンリモコン: 2ページ)
(光タッチリモコン: 2ページ)

5

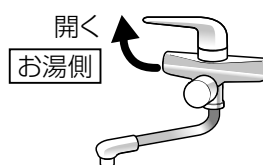
混合水栓のお湯側の開きかた

(例)

お湯の出しかたは、混合水栓のタイプにより異なります。



- **サーモスタットタイプ**
湯温調節を「高」にして開く。



- **シングルレバータイプ**
お湯側にレバーを回して開く。



- **2ハンドルタイプ**
お湯側だけを開く。

貯湯ユニットのお手入れ

お願い!!

貯湯ユニットに脚部カバーを取り付けている場合は、はずしてください。
下記の操作は、8～9ページの『各部の名前とはたらき』を参照して行ってください。

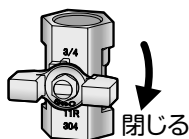
お手入れ

貯湯ユニットのお手入れ

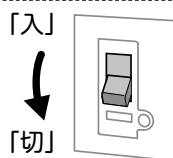
給水口ストレーナーの掃除 (必要に応じて)

お湯の出が悪くなったら、貯湯ユニットのストレーナーの掃除を行ってください。

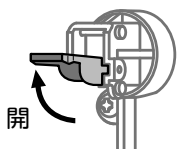
1 給水止水栓を閉じる



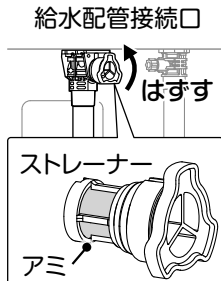
2 電源扉を開け
漏電しゃ断器を「切」にする



3 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを
上げてから約1分間待つ

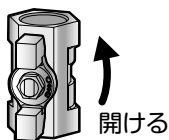


4 貯湯ユニットの
ストレーナーをはずし、
アミを掃除する
① ストレーナーをはずす。
容器などで水を受けてください。
② 水を流しながらブラシな
どでアミをよく洗う。

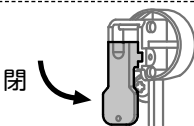


5 ストレーナーを取り付け、
確実に締め付ける

6 給水止水栓を開き、
ストレーナー部などから
水漏れがないかを確認する



7 逃し弁レバーを戻す



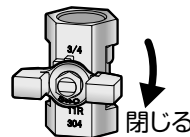
8 漏電しゃ断器を「入」にし、
電源扉を閉じ、
ねじを確実に締める

9 混合水栓のお湯側を開き、
お湯が出ることを確認する
● お湯が飛び散る場合があります。
ご注意ください。

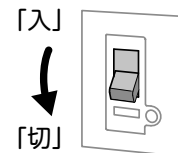
タンク内の掃除 (年に2～3回)

- いつもきれいなお湯が使えるように、タンクの底に沈殿した水あかななどを排水させます。
- タンク内の掃除は残湯量が3目盛り以下、または一度湯はりをした後に行ってください。(熱いお湯で排水口を傷める場合があります)

1 給水止水栓を閉じる



2 電源扉を開け
漏電しゃ断器を「切」にする



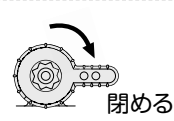
3 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを
上げてから約1分間待つ



4 排水栓扉を開け、
排水栓を開く
(左へ回す)

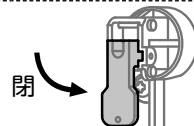


5 水がきれいになったら
(約2分が目安)
排水栓を閉める (戻す)



6 排水が止まったら、給水止水栓を開き、
排水トラップにお湯が出てくるのを確認する
(見えないときは音で確認)

7 お湯が出てきたらすぐに、
逃し弁レバーを戻す



8 漏電しゃ断器を「入」にし、
電源扉を閉じ、
ねじを確実に締める

9 混合水栓のお湯側を開き、
お湯が出ることを確認する
● お湯が飛び散る場合があります。
ご注意ください。

点検する

事故を防ぐために、以下の点検を必ず行ってください。

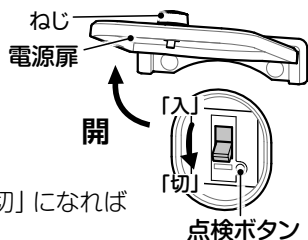
お手入れ

点検する

漏電しゃ断器の動作確認（年に2～3回）

漏電しゃ断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。年に2～3回、漏電しゃ断器の動作確認をしてください。

1 電源扉を開け、点検ボタンを押す

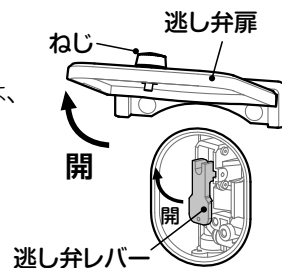


- 漏電しゃ断器が「切」になれば正常です。

2 必ず漏電しゃ断器を「入」に戻し、電源扉を閉じ、ねじを確実に締める

逃し弁の動作確認（年に2～3回）

- 逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを守る安全装置です。正常に動作しないとタンクが変形し、水漏れや故障の原因になります。
- 年に2～3回は、逃し弁レバーを上げて、動作を確認してください。動作確認は、沸き上げ（沸き増し）をしていないときに行ってください。
- レバーを上げると排水し、戻すと排水が止まれば正常です。止まらない場合は、販売店または工事店に修理を依頼してください。



- 確認のために脚立などを使うときは、転倒しないように十分に気をつけてください。

水漏れの点検（日常）

貯湯ユニットの設置場所に水漏れがないか確認してください。特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。

凍結防止の確認（冬が近づいたら）

冬が近づいてきたら、早めに、凍結防止ヒーターの電源を入れることをおすすめします。

→ 本書 14 ページ

定期点検（有料）

本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4年に1回の定期点検をおすすめします。

点検費用については、販売店または工事店にご相談ください。

定期点検で見つかった不都合な部品は、保証期間中は無料で取り替えます。

（消耗部品の保証期間は2年間です。）

定期点検の主な内容

- 据付状態の点検 貯湯ユニット設置面（アンカーボルトの取り付け状態など）、配管状態（断熱処理など）、電気配線・アースの確認など、ヒートポンプユニットの据付状態、システムの水漏れ確認。
- 部品の点検 貯湯ユニットの弁類（減圧弁・逃し弁・ミキシングバルブなど）、電気部品（制御基板など）、ポンプ、逆流防止装置、ヒートポンプユニット電気部品（制御基板）、圧縮機の点検。
- 掃除 タンク内の掃除、貯湯ユニットのストレーナーの掃除。

消耗部品・劣化しやすい部品

※部品交換のときは、当社純正部品をご指定ください。

- 減圧弁
- 逃し弁
- ミキシングバルブ
- ポンプ
- 二方弁
- 三方弁

5年保証に関する免責事項

※部品交換のときは、当社純正部品をご指定ください。

→ 本書 35 ページ に5年保証に関する免責事項が記載してあります。大変重要な内容ですので、必ずお読みください。

凍結のおそれがあるとき

凍結して配管などが破損するおそれがある場合は、下記の対応が必要です。

⚠ 注意

凍結のおそれがあるときは、電源を切らない

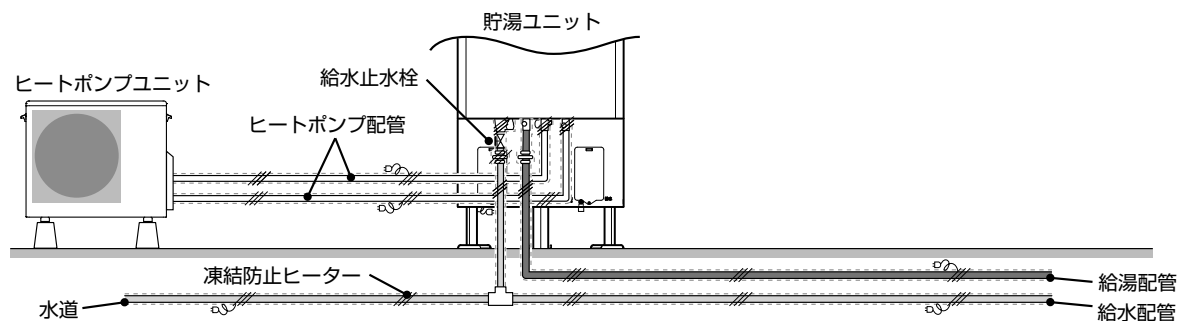
- 配管などが凍結破損して水漏れのおそれがあります。

配管の保温工事、凍結防止ヒーターなど、凍結防止対策を確認する

- 外気温が -5°C 以下になると保温工事をしていても凍結のおそれがあります。

1. 凍結防止ヒーターを使う

- すべての凍結防止ヒーターの電源プラグを100Vコンセントに差し込む。
※ 凍結のおそれがない場合は、ヒーターは巻かれていません。不明な場合は販売店にご確認ください。
- 凍結のおそれがない季節は、ヒーターの電源プラグを抜いておいてください。



2. 少量の水を流し続ける（給水配管、給湯配管の凍結防止）

- 外気温が 0°C 以下になると給水・給湯配管に保温工事がしてあっても、配管が凍結することがあります。そのような場合は、下記手順にしたがって少量の水を流し続けてください。
 - ① 夜、お湯を使わなくなったらリモコンの給湯温度を「 27°C 」に設定する。
 - ② 給湯栓を少し開き、糸引き状態に水を流す。（ $200\text{cc}/\text{分}$ 程度）
 - ③ 翌朝、お湯を使用するときは給湯栓を閉じ、給湯温度を変更する。

3. ヒートポンプユニットの凍結防止（自動で行います）

- 外気温が下がると、循環ポンプを運転してヒートポンプユニット配管内の水を循環します。ポンプが運転しても凍結のおそれがある場合は、自動的に沸き上げ運転を行い凍結予防します。











お願い!!

機器の電源は「入」のままにしてください。
通電していないと凍結防止のための運転が
できません。

必要に応じて設定

■雪害対応設定について

- 粉雪がヒートポンプユニット内にたまらないようにするため、ときどきファンを回す設定です。
台所リモコンにて設定してください。

ボタンリモコン	光タッチリモコン
1. 決定 を押しながら 時計 を押す ● 【特殊設定】画面が表示されます。	1.  に3秒間タッチ ● 【設定と情報管理】画面が表示されます。
2.  を3回押し、 決定 を押す ● 温度表示部に【8】が表示されます。	2.   で【設置時の設定】を選択し、 始める にタッチ
3.  で【on】を選択し、 決定 を押す	3.   で【雪害対応設定】を選択し、 始める にタッチ
	4.   で【する】を選択し、 始める にタッチ

※ 「粉雪対応の設定」(工事説明書29ページ)のディップスイッチ設定をした場合は、この項目は表示されません。
(560Lタイプは除く)

こんな
ときには

凍結のおそれがあるとき／リモコンのお手入れ

リモコンのお手入れ

リモコンの掃除 (日常)

- 表面の汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ります。
- 洗剤およびシンナー・ベンジン・アルコールなどは使わないでください。
- 台所リモコンは防水機能はありませんので、水をかけないようにしてください。
- 浴室リモコンにもお湯や水を直接かけないようにしてください。
- たわしなど硬い物でこすると表面にキズがつきます。

停電のとき


停電した時間が2時間以内のとき

停電中は…

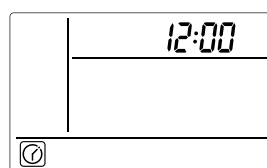
- タンクに貯めたお湯は、停電前の設定温度で混合水栓から給湯できますが、温度調節ができないため、必ず湯温を確かめてからご使用ください。
- マンションなどの貯水槽から水が供給されている場合は、停電中はお湯を使用できません。

停電から復帰したときは…

- 停電から復帰したときは、台所リモコンの時計が表示されていることを確認してください。下記の画面が表示されているときは、時刻（日付）を設定してください。

➔  『使いかたガイド』
（ボタンリモコン:2ページ）
（光タッチリモコン:2ページ）

<ボタンリモコン>




<光タッチリモコン>


! 機器に日時の情報がありません
[始める]にタッチして、
正しく合わせてください。
合わせていただいた日時を基に、
主に夜時間でお湯を貯めますが、
使用量が多く、貯湯量がへると、
昼も自動で沸かす運転をします。

長時間の停電が予想されるとき


冬期で凍結のおそれがあるときは…

- 停電中は凍結防止運転ができません。凍結による破損を防ぐため、タンク内のお湯の排水および配管の水抜きをしてください。『長期間使わないとき』にしたがって、タンク内のお湯の排水および配管の水抜きをしてください。
- ➔  本書 20~23 ページ

非常用水を取り出すときは…

- 停電および断水のときは、タンク内のお湯（または水）を生活用水としてご利用できます。
 - 非常用水を取り出すときは、『非常時にタンクの水を取り出すとき』の手順で取り出してください。
- ➔  本書 18~19 ページ

非常用水を使った後は…

- 断水から復帰したときは、『貯湯ユニットへの水の貯めかた』にしたがってタンクに水を貯めなおしてください。
- ➔  本書 10~11 ページ

断水や水道工事のとき

予定された断水や水道工事の前には、汚れた水がタンク内に入るのを防ぐために給水止水栓の開け閉めが必要です。

貯湯ユニット

1 断水が始まる前に、
給水止水栓を閉める

工事などにより汚れた水が、
タンクに入るのを防ぐためです。

2 断水が終了したら、
混合水栓の水側だけを開ける

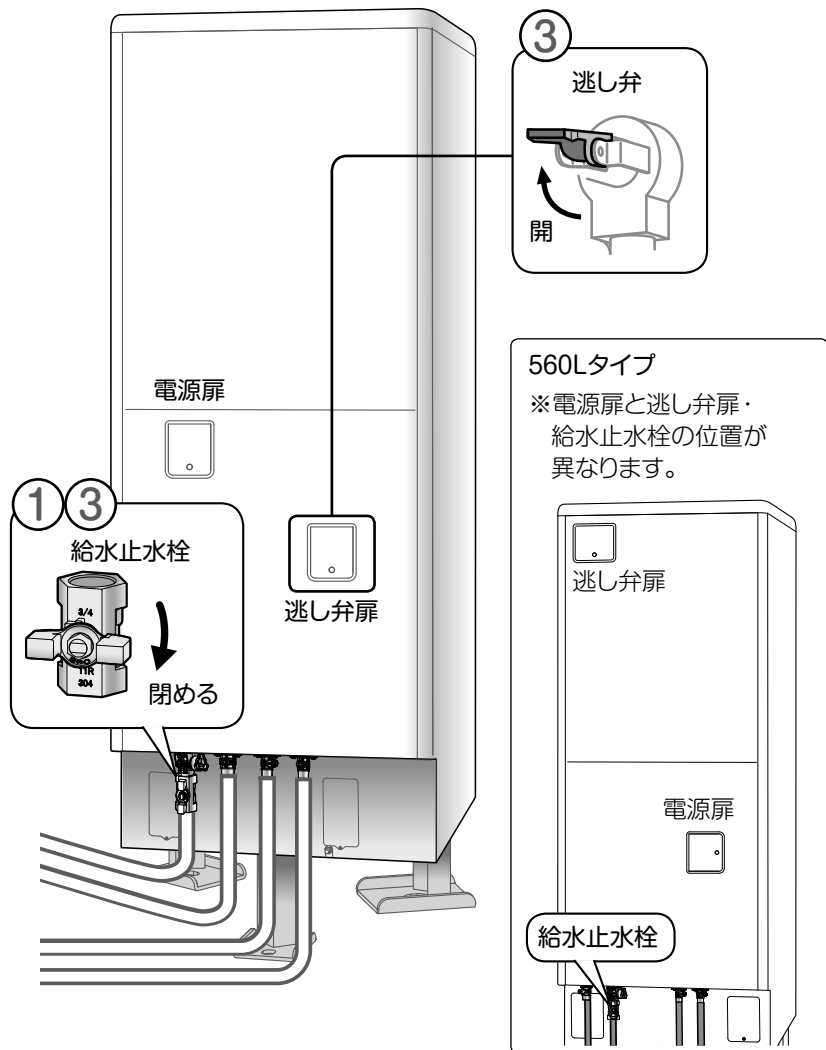
汚れた水が出なくなるまで
水を出し続けます。

3 給水止水栓を開け、
逃し弁を開けて
お湯が出ることを確認する

『貯湯ユニットへの水の貯めかた』を
参考に行ってください。
→ 本書 10～11 ページ

4 混合水栓のお湯側を
ゆっくり開き、
お湯が出ることを確認する

配管に空気が入り込み、
お湯が飛び散る場合がありますので、
ご注意ください。



こんな
ときには

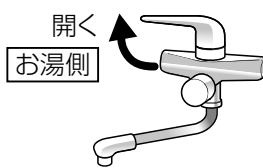
断水や水道工事のとき

4 **混合水栓のお湯側の開きかた**
(例)

お湯の出しかたは、混合水栓のタイプにより異なります。



■ **サーモスタットタイプ**
湯温調節を「高」にして開く。



■ **シングルレバータイプ**
お湯側にレバーを回して開く。



■ **2ハンドルタイプ**
お湯側だけを開く。

非常時にタンクの水を取り出すとき

万一の災害による断水時に、タンク内のお湯（水）を生活用水としてご利用できます。

貯湯ユニット

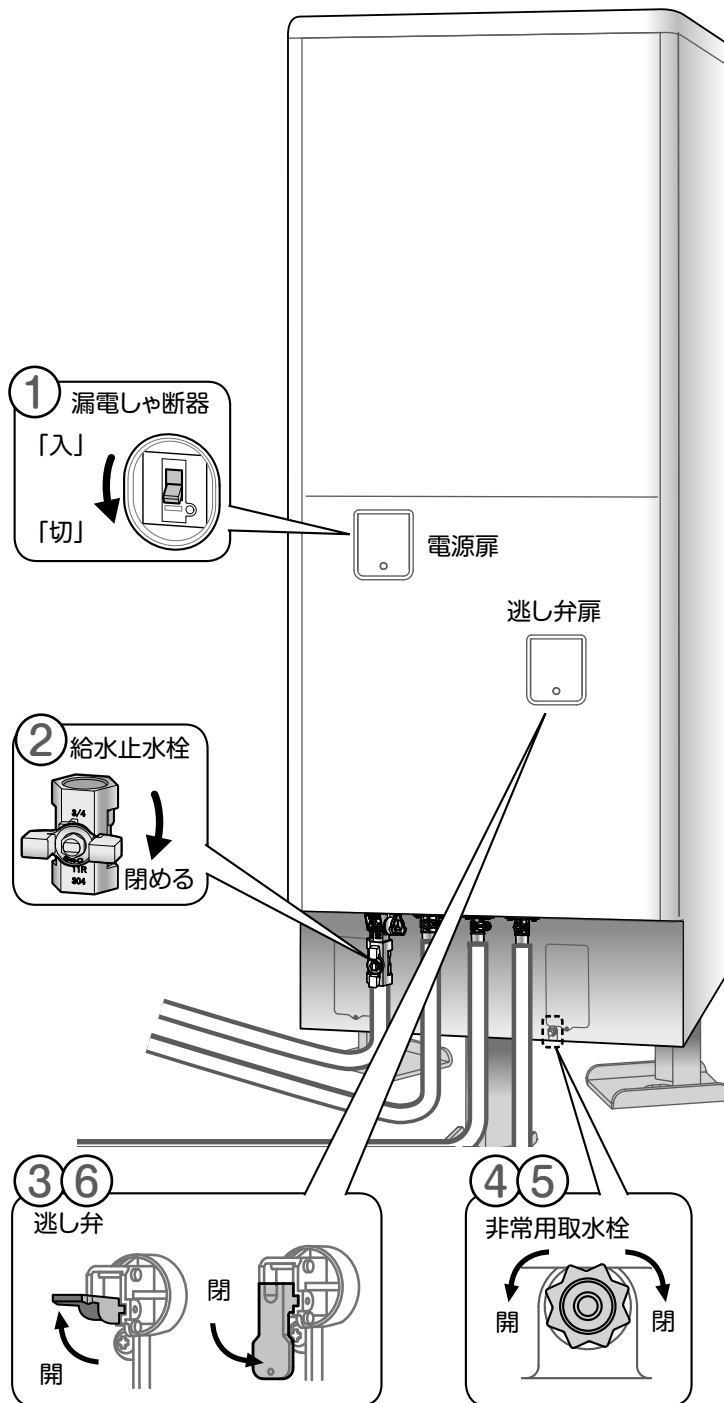
1 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「切」にする

2 給水止水栓を閉める

3 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを上げる
(逃し弁が開きます。)

4 非常用取水栓を開き、お湯(水)を出す
(560Lタイプは次ページ参照)

開いてすぐは汚れた水が出ます。
きれいになってからお使いください。
熱に強い容器で受けてください。



再び使用するときには…

「貯湯ユニットへの水の貯めかた」にしたがって、給水してください。 → 本書 10～11 ページ



お願い!!

熱いお湯が出るため、十分に注意して取り出してください。

使用後は…

5 非常用取水栓を閉める
(560Lタイプは下図参照)

6 逃し弁レバーを戻す
(逃し弁が閉じます。)

7 1・3で開けた、
電源扉と逃し弁扉を閉め、
確実にねじを締める
● 漏電しゃ断器は
「入」にしないでください。

560Lタイプ

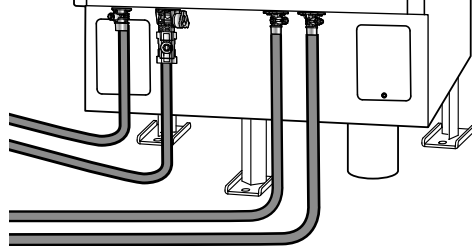
※電源扉と逃し弁扉・配管接続口の
位置が異なります。



逃し弁

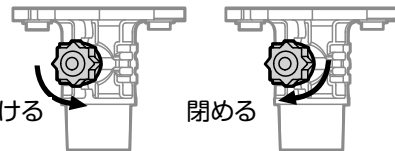


電源扉



4 5

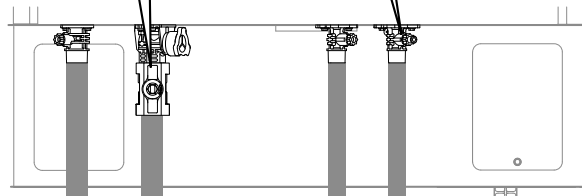
ヒートポンプ配管行き水抜き栓
(非常用取水栓兼用)



開ける

閉める

給水止水栓



こんな
ときには

非常時にタンクの水を取り出すとき

長期間使わないとき (タンクの排水・配管の水抜き)

長期間(1ヵ月以上)使わないときや貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にするときは、下記の手順にしたがって、各部の排水および水抜きをしてください。
特に別荘などでご使用の場合は水抜きをしっかりと行ってください。
(タンク内のお湯(水)を抜かないと、凍結により部品が破損したり、水質が変化したりします。)

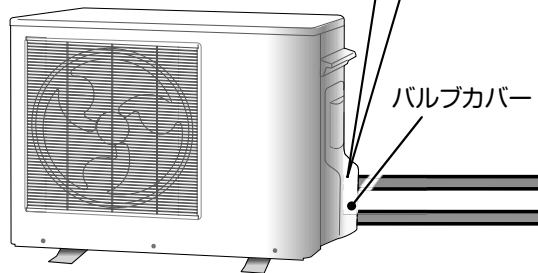
タンクの排水・配管の水抜き方法

- 1 浴槽の残り湯を排水する
- 2 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「切」にする
- 3 給水止水栓を閉める
- 4 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを上げる
(逃し弁が開きます。)
- 5 排水栓扉を開け、
排水栓を開けたあと、
貯湯ユニットの水抜き栓⑥を開ける
 - 約50~80分でタンク内の水が抜けます。
 - 見えないときは、水の音で確認してください。
 - 熱湯が出るので注意してください。
 - 水抜き栓⑥より少量の水が出ますので容器などで受けてください。
- 6 貯湯ユニットの水抜き栓3カ所
(A~C)を5分以上開けてから
ヒートポンプユニットの水抜き方法に
示す手順で水抜きをする
 - 容器などで水を受けてください。
 - 水や熱湯が勢いよく出ることがあります。ご注意ください。
 - 設置状況によっては、水が抜けるまでに時間がかかる場合があります。水抜き栓はいっぱいまで開けてください。
- 7 点検扉を開け、水抜き用弁棒を
指で押し上げる
 - 水が出なくなるまで弁棒を押し上げてください。

⑥ ヒートポンプユニットの水抜き方法

- ① バルブカバーをはずし、接続口の水抜き栓(2カ所)をはずします。
- ② 水側接続口に、貯湯ユニット付属品に同梱のゴムホースを取り付けます。
- ③ A4サイズ(容量約1リットル)くらいのビニール袋に空気を入れ、写真のように手で根元を押さえて空気を押し込み、配管内の残水を排水します。
・湯側接続口から水が出なくなるまで排水します。
(約500~600CC排水されます)
※ビニール袋は現地で調達してください。
※市販の空気入れなど、空気を押し込むことのできる道具でも代用可能です。
- ④ 接続口の水抜き栓(2カ所)を元どおりに取り付けて作業完了です。

ヒートポンプユニット



⑨ 水抜き動作設定方法

ボタンリモコン	光タッチリモコン
1. 決定 を押しながら 時計 を押す ●【特殊設定】画面が表示されます。	1. ○ に3秒間タッチ ●【設定と情報管理】画面が表示されます。
2. ▲ を1回押し、 決定 を押す ●温度表示部に【2】が表示されます。	2. ▽ △ で【設置時の設定】を選択し、 始める にタッチ
3. ▲ で【on】を選択し、 決定 を押す	3. ▽ △ で【配管の水抜き】を選択し、 始める にタッチ
	4. ▽ △ で【する】を選択し、 始める にタッチ

長期間使わないとき
(タンクの排水・配管の水抜き)

お願い!!

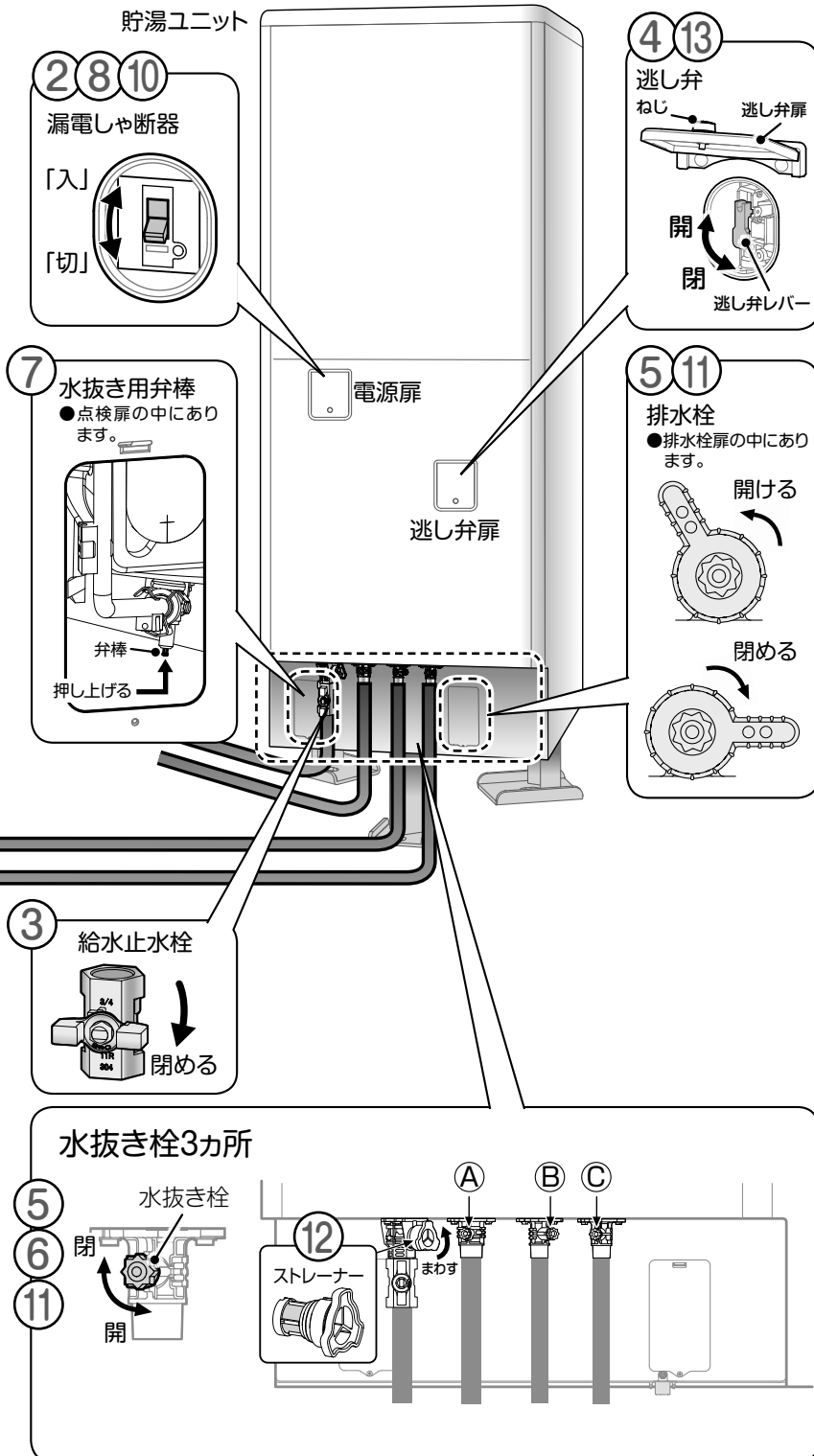
<370L,460Lタイプ>

再び使用するときには、『貯湯ユニットへの水の貯めかた』にしたがって、給水をしてください。

➔ 本書 10~11 ページ

※凍結のおそれがある時期は再給水できない場合があります。しばらく時間が経過しても再給水できない場合は、東芝電気給湯機ご相談センターにご相談ください。

排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきり、水になってから排水してください。



8 漏電しゃ断器を「入」にする

9 台所リモコンで
水抜き動作を設定し、
約1分間待つ

10 漏電しゃ断器を「切」にする

11 水抜きが終わったら、
排水栓と水抜き栓3カ所
(A~C) を閉める

12 給水口の
ストレーナーをはずす
水が出なくなったら、
ストレーナーを取り付け、
確実に締め付ける

13 逃し弁レバーを戻す
(逃し弁が閉じます。)

14 2・4・5・7で開けた、
電源扉・逃し弁扉・排水栓扉・
点検扉を閉めて確実にねじを
締める

こんな
ときには

長期間使わないとき
(タンクの排水・配管の水抜き)

長期間使わないとき (タンクの排水・配管の水抜き)

長期間(1ヵ月以上)使わないときや貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にするときは、下記の手順にしたがって、各部の排水および水抜きをしてください。
特に別荘などでご使用の場合は水抜きをしっかりと行ってください。
(タンク内のお湯(水)を抜かないと、凍結により部品が破損したり、水質が変化したりします。)

タンクの排水・配管の水抜き方法

- 1 浴槽の残り湯を排水する
台所リモコンで
水抜き動作を設定し、
約1分間待つ

- 2 電源扉を開け、
漏電しゃ断器を「切」にする

- 3 給水止水栓を閉める

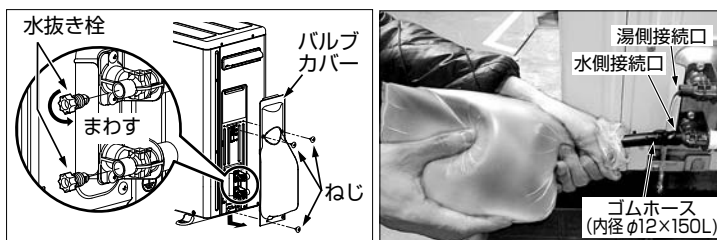
- 4 逃し弁扉を開け、
逃し弁レバーを上げる
(逃し弁が開きます。)

- 5 排水栓扉を開け、
排水栓を開ける
 - 約60~70分で
タンク内の水が抜けます。
 - 見えないときは、
水の音で確認してください。
 - 熱湯が出るので注意してください。

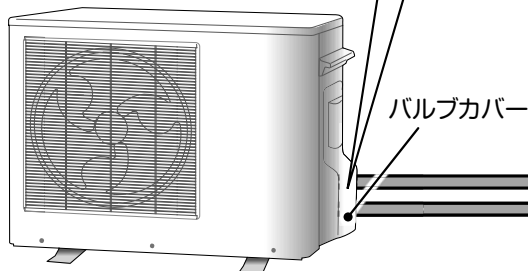
長期間使わないとき
 (タンクの排水・配管の水抜き)

⑥ ヒートポンプユニットの水抜き方法

- ① バルブカバーをはずし、接続口の水抜き栓(2カ所)をはずします。
- ② 水側接続口に、貯湯ユニット付属品に同梱のゴムホースを取り付けます。
- ③ A4サイズ(容量約1リットル)くらいのビニール袋に空気を入れ、写真のように手で根元を押さえて空気を押し込み、配管内の残水を排水します。
・湯側接続口から水が出なくなるまで排水します。
(約500~600CC排水されます)
※ビニール袋は現地で調達してください。
※市販の空気入れなど、空気を押し込むことのできる道具でも代用可能です。
- ④ 接続口の水抜き栓(2カ所)を元どおりに取り付けて作業完了です。



ヒートポンプユニット



① 水抜き動作設定方法

ボタンリモコン	光タッチリモコン
1. 決定 を押しながら 時計 を押す ●【特殊設定】画面が表示されます。	1. ○ に3秒間タッチ ●【設定と情報管理】画面が表示されます。
2. ▲ を1回押し、 決定 を押す ●温度表示部に【2】が表示されます。	2. ▽ △ で【設置時の設定】を選択し、 始める にタッチ
3. ▲ で【on】を選択し、 決定 を押す	3. ▽ △ で【配管の水抜き】を選択し、 始める にタッチ
	4. ▽ △ で【する】を選択し、 始める にタッチ

お願い!!

再び使用するときは、『貯湯ユニットへの水の貯めかた』にしたがって、給水をしてください。

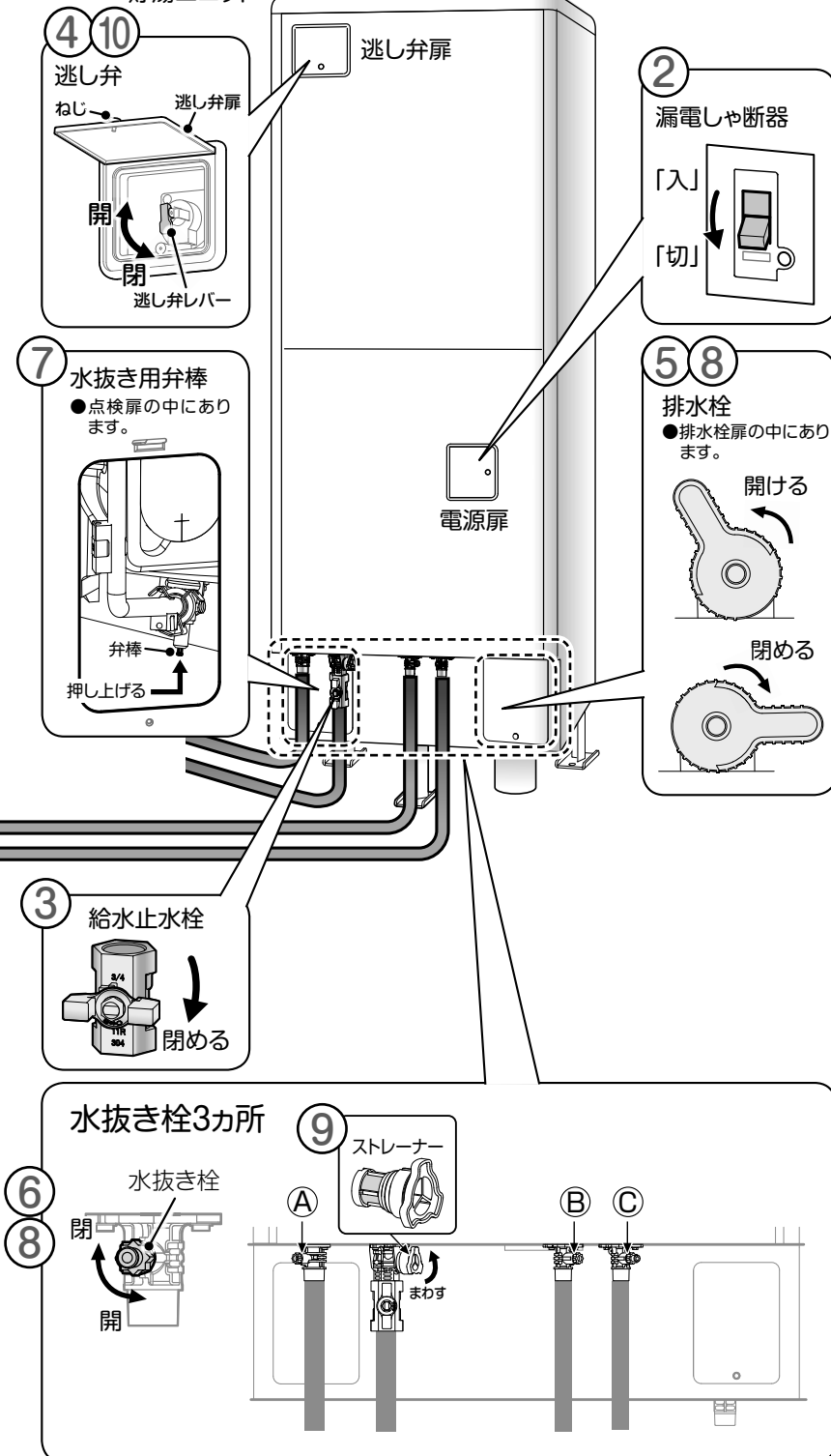
➔ 本書 10~11 ページ

※凍結のおそれがある時期は再給水できない場合があります。しばらく時間が経過しても再給水できない場合は、東芝電気給湯機ご相談センターにご相談ください。

<560Lタイプ>

排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきり、水になってから排水してください。

貯湯ユニット



6 水抜き栓3カ所 (A~C) を5分以上開けてからヒートポンプユニットの水抜き方法に示す手順で水抜きをする

- 容器などで水を受けてください。
- 水や熱湯が勢いよく出ることがあります。ご注意ください。
- 設置状況によっては、水が抜けるまでに時間がかかる場合があります。水抜き栓はいっぱいまで開けてください。

7 点検扉を開け、水抜き用弁棒を指で押し上げる

- 水が出なくなるまで弁棒を押し上げてください。

8 水抜きが終わったら、排水栓と水抜き栓3カ所 (A~C) を閉める

9 給水口のストレーナーをはずす
水が出なくなったら、ストレーナーを取り付け、確実に締め付ける

10 逃し弁レバーを戻す (逃し弁が閉じます。)

11 2・4・5・7で開けた、電源扉・逃し弁扉・排水栓扉・点検扉を閉めて確実にねじを締める

こんなときは

長期間使わないとき
(タンクの排水・配管の水抜き)

製品仕様

■システム・ユニット形名対照表

システム形名		給湯専用パワフル給湯		一般地向け		
		HWH-F375H	HWH-F465H	HWH-F375	HWH-F465	HWH-F565
システム形名	耐塩害仕様	—	—	HWH-F375-Z	HWH-F465-Z	—
	耐重塩害仕様	—	—	HWH-F375-GZ	HWH-F465-GZ	—
貯湯ユニット形名	HWH-F375HT	HWH-F465HT	HWH-F375T	HWH-F465T	HWH-F565T	
	耐塩害仕様	—	HWH-F375T-Z	HWH-F465T-Z	—	
貯湯ユニット形名	耐重塩害仕様	—	HWH-F375T-GZ	HWH-F465T-GZ	—	
	HWH-455U	HWH-605U	HWH-455U	HWH-605U	HWH-735U	
ヒートポンプユニット形名	耐塩害仕様	—	HWH-455U-Z	HWH-605U-Z	—	
	耐重塩害仕様	—	HWH-455U-GZ	HWH-605U-GZ	—	

■仕様表

システム形名		一般地向け				
貯湯ユニット+ヒートポンプユニット	HWH-F375H	HWH-F465H	HWH-F375	HWH-F465	HWH-F565	
貯湯ユニット	耐塩害仕様	—	HWH-F375-Z	HWH-F465-Z	—	
	耐重塩害仕様	—	HWH-F375-GZ	HWH-F465-GZ	—	
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型・時間帯別電灯型（通電制御割引対象品）					
電源定格	単相200V（50/60Hz共用）					
最大電流	17A	18A	17A	18A	19A	
沸き上げ温度範囲	約65℃～約90℃（水温・外気温により可変）					
年間給湯効率（JIS） ^{*1} ^{*2}	3.3			3.1		
区分名	19			27		
仕向地	H25年次世代省エネ基準4・5・6・7・8地域 ● H25年次世代省エネ基準1・2・3地域での据え付けは出来ません。 最低外気温がマイナス10℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けないでください。 ● お湯の使用状態や外気温などによって沸き上げ温度は変化します。					
用途	セントラル給湯・ふる自動湯はり					
	2～5人家族用	4～7人家族用	2～5人家族用	4～7人家族用	5～8人家族用	

貯湯ユニット形名		HWH-F375HT	HWH-F465HT	HWH-F375T	HWH-F465T	HWH-F565T
貯湯ユニット	耐塩害仕様	—	—	HWH-F375T-Z	HWH-F465T-Z	—
	耐重塩害仕様	—	—	HWH-F375T-GZ	HWH-F465T-GZ	—
タンク容量		370L	460L	370L	460L	560L
設置条件		屋外設置				
設置可能最低外気温		-10℃				
外形寸法	幅	630mm	630mm	630mm	630mm	700mm
	奥行	730mm	730mm	730mm	730mm	800mm
	高さ	1760mm	2094mm	1760mm	2094mm	2110mm
質量（満水時）		約51（421）kg	約59（519）kg	約51（421）kg	約59（519）kg	約76（636）kg
消費電力	沸き上げ用ポンプ	40W				
	凍結防止ヒーター	20W				
	制御用消費電力	15W（待機時：4W ^{*9} ）				
水側最高使用圧力	340kPa（減圧弁設定圧力：300kPa）		190kPa（減圧弁設定圧力：170kPa）			
配管口径	給水・給湯：R3/4 ヒートポンプ接続：R1/2					
排水口	排水：R1/2				排水：R3/4	
給湯温度設定	27℃～48℃（1℃刻み）、50℃、55℃、60℃					
浴槽の目安	120L～450L					
ふる給湯機能	ボタンリモコン接続時	（浴室リモコン接続時）高温たし湯・たし湯・さし水				
	光タッチリモコン接続時	自動湯はり／（浴室リモコン接続時）高温たし湯・たし湯・さし水				

ヒートポンプユニット形名		HWH-455U	HWH-605U	HWH-455U	HWH-605U	HWH-735U
ヒートポンプユニット	耐塩害仕様	—	—	HWH-455U-Z	HWH-605U-Z	—
	耐重塩害仕様	—	—	HWH-455U-GZ	HWH-605U-GZ	—
外形寸法	幅	820mm				
	奥行	320mm				
	高さ	712mm				
質量	約52kg					
中間期標準加熱能力 ^{*4} ^{*5}	4.5kW	6.0kW	4.5kW	6.0kW	7.3kW	
中間期標準消費電力 ^{*5}	0.96kW	1.32kW	0.96kW	1.32kW	1.66kW	
中間期標準運転電流 ^{*5}	6.3A	8.5A	6.3A	8.5A	10.1A	
夏期加熱能力/消費電力 ^{*4} ^{*6}	4.5kW/0.88kW					
冬期高温加熱能力 ^{*3} ^{*4} ^{*7}	4.5kW	6.0kW	4.5kW	6.0kW	7.3kW	
冬期高温消費電力 ^{*7}	1.50kW	2.00kW	1.50kW	2.00kW	2.40kW	
運転音（中間期 ^{*5} /冬期 ^{*7} ） ^{*8}	38/44dB	42/46dB	38/44dB	42/46dB	44/47dB	
冷媒名/封入量	CO ₂ （R744）/0.80kg					
設計圧力	高圧：14.5MPa/低圧：8.5MPa					
設置可能最低外気温 ^{*10}	-10℃					

^{*1} 年間給湯効率（JIS）は日本工業規格「JIS C9220：2011」に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等によって変わります。
^{*2} 一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で40℃のお湯を456Lお湯したものです。
^{*3} 年間給湯効率算出時の条件
着霜期高温条件
：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
給湯モード条件（冬期）
：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
給湯モード条件（着霜期）
：外気温（乾球温度/湿球温度）2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度65℃
夜間消費電力量比率：80%

^{*4} 沸き上げモード：「おすすみ」設定（ボタンリモコン接続時）、「おまかせ」設定（光タッチリモコン接続時）
^{*5} 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
^{*6} 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
^{*7} 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
^{*8} 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
^{*9} 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃
^{*10} 運転音は、JIS C9220：2011 に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けられた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
^{*11} 中間期条件で、沸き上げ、給湯などの動作がなく、リモコンは消灯（待機）した状態の時に測定した数値です。台所リモコンと浴室リモコンを2個接続した状態で測定しています。
^{*12} 運転使用範囲は-10℃～43℃です。外気温が-5℃以下の場合の最高沸き上げ温度は約80℃～85℃となります。
* 仕様は改善のため変更することがあります。

■システム・ユニット形名対照表

	寒冷地向け
	給湯専用
システム形名	HWH-F465N
貯湯ユニット形名	HWH-F465TN
ヒートポンプユニット形名	HWH-605UN

■仕様表

システム形名	寒冷地向け
貯湯ユニット+ヒートポンプユニット	HWH-F465N
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型・時間帯別電灯型 (通電制御割引対象品)
電源定格	単相200V (50/60Hz共用)
最大電流	18A
沸き上げ温度範囲	約65℃～約90℃ (水温・外気温により可変)
年間給湯効率(JIS) *1 *3	3.3
寒冷地年間給湯効率(JIS) *2 *3	2.9
区分名	23
仕向地	H25年次世代省エネ基準1・2・3地域 ●最低外気温がマイナス25℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けないでください。 ●最低外気温がマイナス15℃を下回る地域では、貯湯ユニットは屋内に設置してください。 ●お湯の使用状態や外気温などによって沸き上げ温度は変化します。
用途	セントラル給湯・ふる自動湯はり 4～7人家族用

貯湯ユニット形名	HWH-F465TN
タンク容量	460L
設置条件	屋外設置
設置可能最低外気温度	-15℃
外形寸法	幅 630mm 奥行 730mm 高さ 2094mm
質量 (満水時)	約59 (519) kg
消費電力	沸き上げ用ポンプ 40W 凍結防止ヒーター 50W 制御用消費電力 15W (待機時: 4W *11)
水側最高使用圧力	190kPa (減圧弁設定圧力: 170kPa)
配管口径	給水・給湯: R3/4 ヒートポンプ接続: R1/2 排水: R1/2
給湯温度設定	27℃～48℃ (1℃刻み)・50℃、55℃、60℃
浴槽の目安	120L～450L
ふる給湯機能	ボタンリモコン接続時 光タッチリモコン接続時 (浴室リモコン接続時) 高温たし湯・たし湯・さし水 自動湯はり / (浴室リモコン接続時) 高温たし湯・たし湯・さし水

ヒートポンプユニット形名	HWH-605UN
外形寸法	幅 820mm 奥行 320mm 高さ 712mm
質量	約58kg
中間期標準加熱能力 *5 *6	6.0kW
中間期標準消費電力 *6	1.32kW
中間期標準運転電流 *6	8.5A
夏期加熱能力/消費電力 *5 *7	4.5kW/0.88kW
冬期高温加熱能力 *4 *5 *8	6.0kW
冬期高温消費電力 *8	2.00kW
寒冷地冬期高温加熱能力 *4 *5 *9	6.0kW
運転音(中間期 *6/冬期 *8) *10	42/46dB
冷媒名/封入量	CO ₂ (R744)/1.21kg
設計圧力	高圧: 14.5MPa / 低圧: 8.5MPa
設置可能最低外気温度 *12	-25℃
凍結防止ヒーター消費電力	55W

*1 年間給湯効率 (JIS)は日本工業規格「JIS C9220:2011」に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件*のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等によって変わります。
*一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で40℃のお湯を456L使用したものです。
*年間給湯効率算出時の条件
着霜期高温条件
：外気温 (乾球温度/湿球温度) 2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
給湯モード条件 (冬期)
：外気温 (乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
給湯モード条件 (着霜期)
：外気温 (乾球温度/湿球温度) 2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度65℃
夜間消費電力量比率: 80%

*2 寒冷地年間給湯効率 (JIS)は日本工業規格「JIS C9220:2011」に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件*のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等によって変わります。
*一定の条件とは、盛岡を平均した気象条件・給水温度で40℃のお湯を456L使用したものです。
*寒冷地年間給湯効率算出時の条件
着霜期高温条件
：外気温 (乾球温度/湿球温度) 2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
寒冷地冬期高温条件
：外気温 (乾球温度/湿球温度) -7℃/-8℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃

給湯モード条件 (冬期)
：外気温 (乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
給湯モード条件 (着霜期)
：外気温 (乾球温度/湿球温度) 2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度65℃
夜間消費電力量比率: 80%

*3 沸き上げモード: 「おすすめ」設定 (ボタンリモコン接続時)、「おまかせ」設定 (光タッチリモコン接続時)
*4 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
*5 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
*6 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
*7 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 25℃/21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
*8 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃
*9 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) -7℃/-8℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
*10 運転音は、「JIS C9220:2011」に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
*11 中間期条件で、沸き上げ、給湯などの動作がなく、リモコンは消灯 (待機) した状態の時に測定した数値です。台所リモコンと浴室リモコンを2個接続した状態で測定しています。
*12 運転使用範囲は-25℃～43℃です。外気温が-5℃以下の場合の最高沸き上げ温度は約80℃～85℃となります。外気温が-20℃～-25℃の場合の最高沸き上げ温度は約80℃となりますが、タンク全量を沸き上げできない場合があります。昼間の沸き増しの割合が増えます。
* 仕様は改善のため変更することがあります。

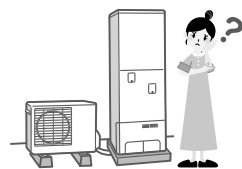
よくあるお問い合わせ

	このようなときには	これを確認してください	参照ページ		
			本書	ボタンリモコン	光タッチリモコン
お湯が出ない	● 給水止水栓が開いていることを確認してください ▶ 開けかたは、『貯湯ユニットの水の貯めかた』を参照してください。	10, 11	-	-	
	● 断水していませんか? (他の水栓から水は出ますか?) ▶ 断水の場合、『断水や水道工事のとき』にしたがって操作後、断水が終了するまでお待ちください。	17	-	-	
	● 配管が凍結していませんか? ▶ 『凍結のおそれがあるとき』を参照し、凍結が解消するまでお待ちください。	14	-	-	
	● 停電していませんか? ▶ マンションなどの貯水槽の水を利用している場合は、停電が復旧するまでお待ちください。	-	-	-	
お湯の出が悪い	● ガス (石油) 給湯機に比べると、若干ですが、お湯の出が悪くなります。(タンクに水を貯めるため、水压を落とす調整をしています) ● 混合水栓のタイプによっては、水栓を全開にしてもお湯の出が悪くなる場合があります。 ▶ リモコンの給湯温度を60℃に設定し、混合水栓で水を多く混ぜてご使用ください。	-	8, 9	8, 9	
	● たし湯中や他で使用している場合は、混合水栓やシャワーから出る湯量が少なくなる場合があります。	-	-	-	
	● 貯湯ユニットのストレーナー (フィルター) にゴミが詰まっていますか? (掃除をしていますか?) ▶ 『給水口ストレーナーの掃除』の手順にしたがって、掃除を行ってください。	12	-	-	
	● 給水止水栓が全開になっていることを確認してください。 ▶ 開けかたは、『貯湯ユニットの水の貯めかた』を参照してください。	10, 11	-	-	
お湯がぬるい (設定温度にならない) 混合水栓やシャワーの温度が低い、水が出る	● 給水圧が低くなっていませんか? (200kPa以下) ▶ お近くの水道局にお問い合わせください。	-	-	-	
	● リモコンの給湯温度表示は目安です。 ・配管の放熱によって、設定温度より低くなる場合があります。 ・タンク内の湯温が低い場合は、設定温度にならないことがあります。	-	8	8	
	● 残湯量目盛りが点灯していますか? ▶ お湯がない場合は水が出ます。お湯が沸くまでお待ちください。	-	10	10, 11	
	● お湯の出始めは、配管に残っている水が出ます。 ▶ お湯が出るまで、少しお待ちください。	-	-	-	
湯温が変動する (給湯中に、急に熱くなったり、ぬるく (水) になったりする) 出湯量の変動する	● サーマスタット式混合水栓をご使用で、混合水栓の設定温度まで上がらない場合は、リモコンの給湯温度設定を混合水栓の温度より10℃以上高めに設定してください。 それでも上がらないときは、混合水栓メーカーにご相談ください。 ● 1カ所のみ湯温が低い場合は、混合水栓の故障の可能性があります。 販売店にご相談ください。	-	-	-	
	● 次の場合が考えられますが、異常ではありません。 ・給湯中に、他の混合水栓やシャワーでお湯を出したり止めたりしたとき ・給湯中に、出湯量を調節したとき ・給湯を止めて、しばらくして再給湯したとき ・出湯量が極端に少ないとき ・水道の圧力が変動しているとき	-	-	-	

給湯の具合

よくあるお問い合わせ

よくあるお問い合わせ



このようなときには	これを確認してください	参照ページ		
		本書	ボタンリモコン	光タッチリモコン
お湯が沸かない	<ul style="list-style-type: none"> ●貯湯ユニットの漏電しゃ断器が、「切」になっていませんか？ (台所リモコンの画面表示がすべて消えていませんか？) ▶『貯湯ユニットへの水の貯めかた』を参照し、漏電しゃ断器を「入」にしてください。 「入」にして、度々「切」になるようでしたら、販売店または工事店にご相談ください。 	10, 11	—	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの時計が正しく設定されていますか？ ・時計が合っていない場合 (---表示の場合) ▶『時計設定』の手順にしたがって、時刻 (日付) を合わせてください。 	—	2	2
	<ul style="list-style-type: none"> ●「貯めない設定」をしていませんか？ ▶『貯めない設定』の手順にしたがって、解除してください。 (光タッチリモコンのみ) 	—	—	21
お湯がたりない (「おすすめ」(光タッチリモコン:「おまかせ」)設定のとき)	<ul style="list-style-type: none"> ●いつもに比べてお湯の使用量が少なかったですか？ ▶「おすすめ」(光タッチリモコン:「おまかせ」)設定で1週間以上、お湯のたりない日が続くようでしたら、「たっぷり」(光タッチリモコン:「おおめ」)設定でお使いください。 	—	12	18, 19
沸き上げ お湯がたりない 湯切れする	<ul style="list-style-type: none"> ●夜間時間帯にお湯を多く使ったり、お風呂に湯はりをしましたか？ ▶夜間に沸かしたお湯を使用したために残湯量が減っています。 夜間のお湯の使用を控えていただくか、沸き増しを設定してください。 	—	—	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●いつもに比べてお湯の使用量が少なかったですか？ ▶この製品は貯湯式ですので、一度に使える湯量に限度があります。 いつもより多く使う場合は、「沸き増し」を設定してください。 	—	11	14, 15
	<ul style="list-style-type: none"> ●昼間の自動沸き増し禁止を設定していませんか？ ▶「自動沸き増し」を禁止している場合はお湯がたりなくなる場合があります。 	—	13	16
	<ul style="list-style-type: none"> ●手動で沸き上げしていますか？ ▶「少量」(光タッチリモコン:「60分間」、「湯はり量」)設定は、沸き増しが完了すると、設定が自動で解除されます。 必要に応じて設定してください。 ▶「全量」(光タッチリモコン:「満タンに」)設定は、夜間時間帯までは何度でも沸き増ししますが、夜間時間帯になると設定が自動で解除されます。必要に応じて設定してください。 	—	11	14
	<ul style="list-style-type: none"> ●沸き上げていないときに、排水口からお湯が出ていませんか？ ▶『逃し弁の動作確認』の手順にしたがって、逃し弁の動作を確認してください。 ※沸き上げしている最中に膨張水が出るのは正常です。 	13	—	—
昼間時間帯に沸き上げをする	<ul style="list-style-type: none"> ●昼間時間帯 (朝～夜) はお湯がたりないときだけ自動で沸き増し (沸き上げ) します。 ▶昼間時間帯 (朝～夜) の自動沸き増し運転を止めることもできます。 	—	13	16
	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒートポンプユニットの凍結防止のために、外気温が低い場合は、沸き増しを行う場合があります。 	—	—	16
沸き上げを止めたい	<ul style="list-style-type: none"> ●「貯めない設定」で「無期限」に設定してください。 (光タッチリモコンのみ) 	—	—	21
夜になっても沸き上げをしない	<ul style="list-style-type: none"> ●夜間時間の終了時刻を目標に、沸き上げが終わるよう、水温・外気温・残湯量によって、沸き上げ開始時間を調整しています。 ▶すぐにお湯の沸き上げをしたい場合は、手動沸き増しの「少量」(光タッチリモコン:「60分間」)を設定してください。 	—	11	14

お問合わせの前に
よく読むお問合わせ

よくあるお問い合わせ

	このようなときには	これを確認してください	参照ページ		
			本書	ボタンリモコン	光タッチリモコン
沸き上げ	夜間時間帯の終了時刻よりも早く止まる	●外気温や残湯量や残湯温度によって、沸き上げの完了時刻は前後する場合があります。	-	-	-
	停電復旧後や修理後に湯量が変わった	●沸き上げ設定が変わっていないか確認してください。 ●停電後や修理時には学習内容が初期化される場合があります。学習期間は1週間ですので、そのままお使いください。	-	-	-
	朝に満タンになっていない	●お客様のお湯の使用量を学習して沸き上げ量を決めています。 ▶明日に備えて全量を沸かす設定もできますが、一晩だけの設定です。(光タッチリモコンのみ)	-	/	20
	満タンに沸き上げる湯量が突然変わった	●学習期間(最初の1週間)は最適な湯量を学習するため、朝にタンクが全量になるように沸き上げをします。 ●1週間の間にお湯をまったく使用しない日が6日間あると、自動的に再学習期間(1週間)になり、朝にタンクが全量になるように沸き上げをします。	-	-	36
	手動沸き増しを設定しても沸き上げをしない	●ヒートポンプユニット運転停止直後に、手動沸き増しを設定しませんでしたか? ▶ヒートポンプユニットが運転を停止してから15分間は機器保護のため運転を待機します。	-	-	-

お問い合わせの前に

よくあるお問い合わせ

このようなときには	これを確認してください	参照ページ		
		本書	ボタンリモコン	光タッチリモコン
「湯はり」キーが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●残湯量表示は点灯していますか？ <ul style="list-style-type: none"> ▶残湯量表示がない場合は、「湯はり」キーは消灯したままとなり操作できません。 お湯が十分に沸くまでお待ちください。 	-	14	22, 23
湯はり時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> ●蛇口は全開になっていますか？ 	-	-	-
	<ul style="list-style-type: none"> ●給水止水栓が全開になっていることを確認してください。 ▶開け方は、「貯湯ユニットの水の貯めかた」を参照してください。 	10, 11	-	-
	<ul style="list-style-type: none"> ●湯はり中に、混合水栓やシャワーでお湯を使うと湯はり時間が長くなります。 	-	-	-
湯はりが途中で止まる（「湯はり」が解除）	<ul style="list-style-type: none"> ●残湯量表示は点灯していますか？ ▶湯はり中に残湯量表示が消灯し、お知らせコード「U:22」が表示されると、「湯はり」運転が解除されます。 お湯が十分に沸くまで待ってから、湯はりをやり直してください。 	-	23	39
浴槽の湯温が低い	<ul style="list-style-type: none"> ●湯はり温度は目安です。 浴槽や配管ならびに季節により変わりますので、状況にあわせて湯はり温度を設定してください。 	-	-	-
	<ul style="list-style-type: none"> ●残湯量表示は点灯していますか？ ▶お湯が沸くまでお待ちください。 	-	-	-
湯はり完了後に蛇口から少量のお湯が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●湯はり完了後に蛇口を閉めましたか？ ▶湯はり完了後は、蛇口を確実に閉めないでと蛇口から少量のお湯が出る場合があります。 	-	14	22, 23
浴槽の水位が安定しない（あふれる、湯量が少ない）	<ul style="list-style-type: none"> ●残り湯がある状態で、湯はりをしませんでしたか？ ▶浴槽の残り湯を排水してから湯はりをしてください。 ●湯はり中に混合水栓やシャワーからお湯をたしませんでしたか？ 	-	-	-
「あつく」「たし湯」「さし水」（光タッチリモコン：「湯かげん」）が操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●残湯量表示は点灯していますか？ ▶残湯量表示がない場合は、「あつく」「たし湯」「さし水」（光タッチリモコン：「湯かげん」）は消灯したままとなり操作できません。 お湯が沸くまでお待ちください。 ●湯はり中は操作できません。 	-	16	24, 25
高温たし湯ができない 熱いお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●残湯量が少ない場合や、残湯量表示があってもタンク内の湯温が低い場合は熱いお湯が出なかったり、お好みの温度になるまで時間がかかります。 ▶「少量」（光タッチリモコン：「60分間」）沸き増しを設定してください。 また、高温たし湯を多く使う場合は、沸き上げ設定を「たっぷり」（光タッチリモコン：「おおめ」）に設定することをおすすめします。 	-	11	14
		-	12	18, 19
浴槽やタイルが青くなる	<ul style="list-style-type: none"> ●水に含まれる銅イオンが、石けんなどの脂肪酸と反応し青くなることがあります。 人体には無害ですが、汚れを放置すると取れにくくなりますので、市販の浴室用（油汚れ）洗剤で掃除をしてください。 	-	-	41
お湯に油が浮く お湯が臭い	<ul style="list-style-type: none"> ●初めてお使いの場合は、配管工事の際の油やにおいがお湯に付く場合があります。 しばらくすると消えます。 	-	-	-
浴槽のお湯が青く見える	<ul style="list-style-type: none"> ●光の波長や浴槽の色などによって浴槽のお湯が青く見えることがあります。 	-	-	-

※お風呂（湯はり）

お問合わせの前に

よく読むお問合わせ

※ボタンリモコンは浴室リモコン接続時のみ

よくあるお問い合わせ

このようなときには	これを確認してください	参照ページ	
		本書	光タッチリモコン
リモコンの表示が消えている	<ul style="list-style-type: none"> ●配線用しゃ断器および貯湯ユニットの漏電しゃ断器は「入」になっていますか？ ▶配線用しゃ断器（ブレーカー）を「入」にしてください。 漏電しゃ断器は、『貯湯ユニットの水の貯めかた』を参照してください。 	10, 11	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●節電のため、操作後一定時間たつと、リモコンの画面（台所リモコンはバックライト）、キー操作部の表示が消灯します。 ○にタッチすると再表示されます。表示の点灯時間は変更可能です。 	—	26, 27
表示が勝手に点灯する 表示が消えない	<ul style="list-style-type: none"> ●お湯を使用すると、キー・表示ともに点灯します。（台所リモコンは点灯しません） また、50℃以上の給湯温度設定をすると、安全配慮のため表示は消えません。 	—	—
○が消えない	<ul style="list-style-type: none"> ●表示を残す／残さないの設定ができます。 表示を消したいときは、設定を変更してください。 	—	26, 27
設定中、画面表示がすぐに戻ってしまう	<ul style="list-style-type: none"> ●表示の切り替え時間1分です。 1分以内に操作を終わらせてください。 	—	—
リモコンのキーがすべて点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●操作できるキーだけを点灯しているため、全部点灯していても異常ではありません。 	—	—
設定した内容が反映されていない	<ul style="list-style-type: none"> ●設定変更では、始める にタッチして確定してください。 	—	—
リモコンが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●操作のロックを設定していませんか？ ▶『各部の名前とはたらき』を参照し、解除してください。 	—	4, 6
反応が悪い・過敏	<ul style="list-style-type: none"> ●指の腹でキーの中央にタッチしてください。 ●タッチキー操作感度の設定ができます。 感度を調整したいときは、設定を変更してください。 ●指定のアース工事が確実に行われていることを確認してください。 	—	26, 27
給湯温度の変更ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの「優先」表示は消えていますか？ ▶「優先」表示のあるリモコンでは変更できません。 「優先」の切り替えをしてください。 	—	8, 9
	<ul style="list-style-type: none"> ●操作のロックを設定していませんか？ ▶『各部の名前とはたらき』を参照し、解除してください。 	—	4, 6
台所リモコンの表示が一瞬消える	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的に表示の更新を行います。 一瞬表示が消えたように見えることがありますが、故障ではありません。 	—	—
ガイダンスをしない 聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ●ガイダンスの制限をしていませんか？ ガイダンスの音量が「最小」になっていませんか？ ▶ガイダンスの制限設定、ガイダンスの音量設定を変更してください。 	—	26, 27
おはなし通話中に「ぶっ」と音がる	<ul style="list-style-type: none"> ●「おはなし」中も、リモコンは本体と通信を行うために音がる場合がありますが異常ではありません。 	—	—
おはなし通話中に聞き取りにくい	<ul style="list-style-type: none"> ●声の音質によっては聞き取りにくい場合があります。 マイクに近づいて話してください。 ●周りの音が大きい場所では、声が聞き取りにくくなる場合があります。 シャワーを止める、テレビの音量を下げるなど周りの音を小さくしてください。 	—	—
おはなし通話中にラジオ放送が聞こえる	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣（数km以内）にラジオ放送局もしくは電波塔がある場合、ラジオ放送が入る場合がありますが、異常ではありません。 	—	—
お湯の使用量表示が実際と合わない	<ul style="list-style-type: none"> ●表示されるお湯の使用量は、給湯、湯はりなどで使用したすべての熱量を42℃に換算して表示をしています。 実際に混合水栓から使用した湯量とは異なります。 	—	—

光タッチリモコン

よくあるお問い合わせ

よくあるお問い合わせ

	このようなときには	これを確認してください	参照ページ		
			本書	ボタンリモコン	光タッチリモコン
残湯量表示	残湯量表示が一度に複数消灯する	●タンクに貯められたお湯は放熱によって徐々に温度が下がるため、お湯を使わなくても残湯量が減ることがあります。	-	-	-
	朝になってもすべて点灯しない	●お客様のお湯の使用量を学習して沸き上げ量を決めています。全部点灯していなくても異常ではありません。	-	-	-
	残湯量表示が多くあるのに昼間に沸き増しをする	●お風呂の湯はりを考慮して、沸き増しを行う場合があります。 ▶ 昼間時間帯（朝～夜）の自動沸き増し運転を止めることもできます。	-	13	16
ヒートポンプユニット	ヒートポンプユニットが運転/停止を繰り返す	●外気温が低いときは、凍結防止のために、運転/停止を繰り返すことがあります。異常ではありません。	-	-	-
	昼間時間帯に運転している	●昼間時間帯（朝～夜）はお湯がたりないときだけ自動で沸き増し（沸き上げ）します。 ▶ 昼間時間帯（朝～夜）の自動沸き増し運転を止めることもできます。	-	13	16
		●ヒートポンプユニットの凍結防止のために、外気温が低い場合は、沸き増しを行う場合があります。	-	-	16
	下部から水が出ている地面がぬれている	●沸き上げ中は、空気中の水分が結露し、下部中央水抜き穴より少しずつ排出されます。寒い時期は除霜水も出ます。異常ではありません。凍結などにご注意ください。 ●雨水用排水穴から水が出てくる場合は、ドレン水用排水穴が詰まっている可能性がありますので、排水経路をご確認ください。 	-	-	-
	背面が霜で白くなる	●気温が低いと、霜がつく場合があります。異常ではありません。	-	-	-
	運転音大きい	●沸き上げ中や凍結防止運転中は音がします。 ●外気温が低いと、運転音が大きくなる場合があります。	-	-	-
貯湯ユニット	貯湯ユニットの排水口からお湯が出る	●沸き上げ（沸き増し）中は、タンク内の水が膨張して排水口から膨張水が排出されます。異常ではありません。	-	-	-
	貯湯ユニットから音がする	●湯はり運転中や凍結防止運転でポンプが動作し音がします。異常ではありません。	-	-	-
	お湯を止めると「ゴン」と音がする	●水圧が高い地域で混合水栓のシングルレバータイプを使用すると起こりやすい現象です。 ▶ 水撃防止器を取り付けることで改善できます。お買い上げの販売店にご相談ください。	-	-	-
	水を貯めるときに音がする	●タンク内の空気の排出音がしますが、故障ではありません。 ▶ 満水になると音はしなくなります。	-	-	-

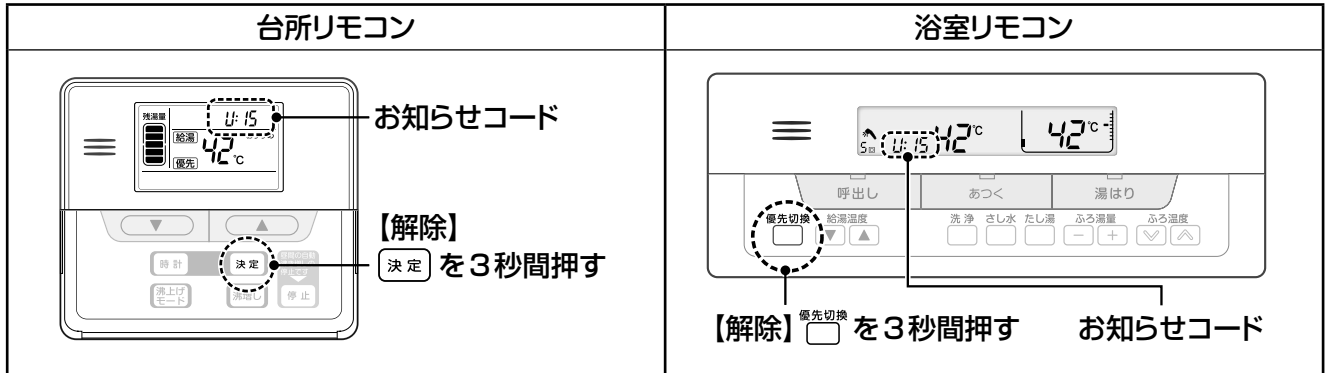
お問合わせの前に

よくあるお問合わせ

お知らせコードが表示されたとき

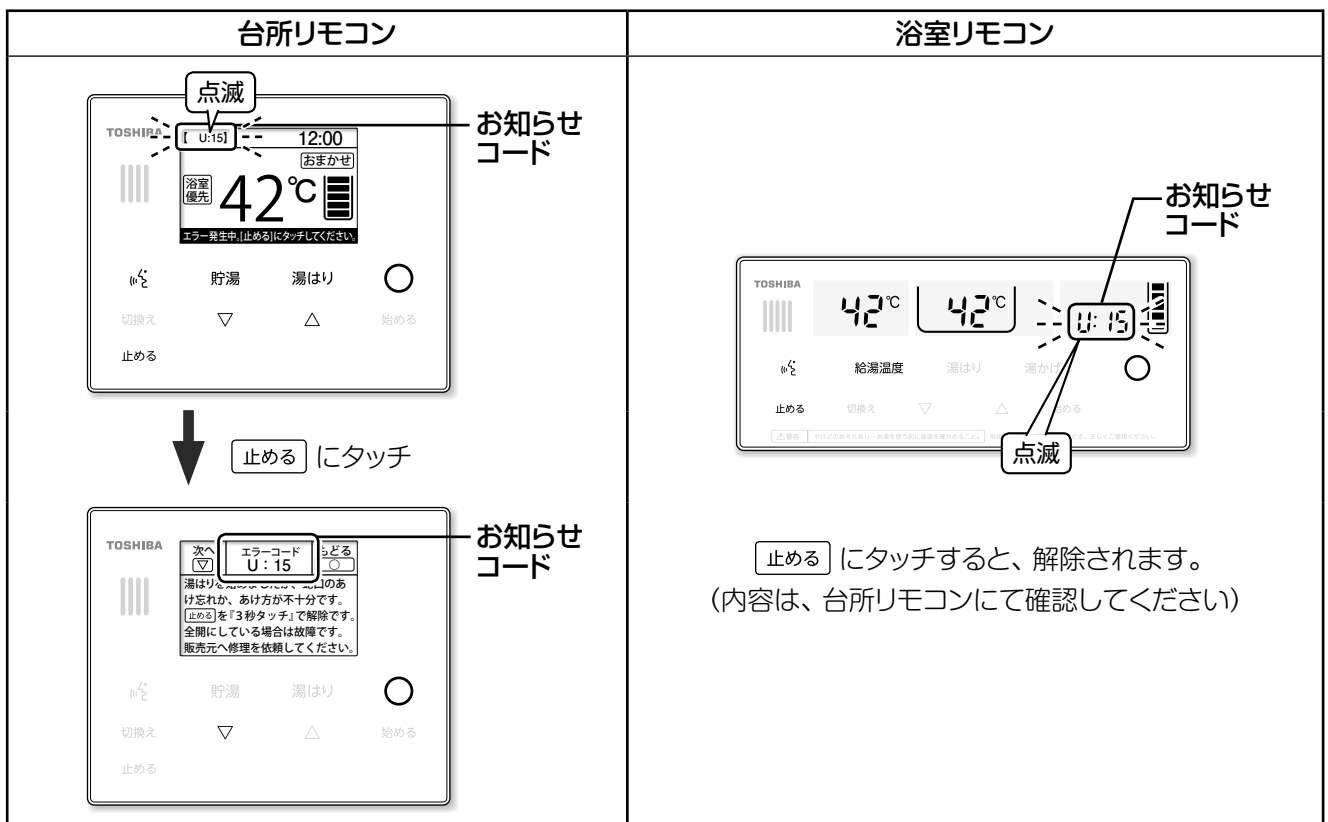
— ボタンリモコンの場合 —

リモコンにお知らせコードが表示された場合は、次ページの表にしたがって対処し、解除を行ってください。



— 光タッチリモコンの場合 —

リモコンにお知らせコードが表示された場合は、台所リモコンに表示される指示にしたがって操作・解除を行ってください。



お問い合わせの前に

お知らせコードが表示されたとき

お知らせコード	現象・原因	対処のしかた
U:15	●湯はりをするとともに、浴槽の蛇口を開け忘れた。	① リモコンでお知らせコードの解除を行う。 ② 浴槽の栓を確認し、「湯はり」ボタンを押して蛇口を開ける。
U:22	●残湯量表示が無いのに「湯はり」ボタンを押した。 ●「湯はり」ボタン点灯中に、お湯を使いすぎ、残湯量表示が無くなった。	① リモコンでお知らせコードの解除を行う。 ② 「沸き増し」を行い、残湯量表示が2/5以上になるまで待つ。 ③ 浴槽の栓を確認し、湯はりをやり直す。

お問い合わせの前に

お知らせコードが表示されたとき



- ひんぱんに同じお知らせコードが表示される場合は、故障のおそれがありますので、お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。
- お知らせコード以外 (E:〇〇、H:〇〇、HU:〇〇) が表示された場合は、故障のおそれがあります。

5年保証に関する免責事項 (重要なお知らせ)

- ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 少しでも長くお使いいただくために、取扱説明書の内容にしたがって定期的にお手入れと日常点検を行ってください。
- 下記内容および取扱説明書・工事説明書の内容を守らなかったために発生した不具合については保証期間内であっても、無償保証の対象外となります。

- 消耗部品(減圧弁、逃し弁、ミキシングバルブ、ポンプ、二方弁、三方弁)の交換。
※消耗部品の保証期間は2年間です。
- 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障および損傷。
- 火災、天災地変(地震、風水害、落雷など)、海岸付近(塩害地向け製品を除く)、温泉地などの地域における塩害、腐食性の有毒ガス、浄化槽からの臭気などの空気環境に起因する不具合や異常電圧で生じた故障および損傷。
- お買い上げ後の落下や取付場所の移動、輸送などで生じた故障および損傷。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
- 保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
- 施工上の誤り、据付不良による故障および損傷。
- タンクに供給する水が以下の場合。
 - ・水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を使用した場合。
 - ・温泉水、地下水、井戸水および水道法に定められた水質基準に適合している飲料水でも、塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれている場合や酸性水その他給湯機を劣化させる水質の場合。
 - ・マンションなどの貯水槽において、特に高濃度の塩素が含まれた水を製品に供給した場合。(タンク・部品の劣化を早め、故障・水漏れの原因となる場合があります。規定内の塩素濃度で管理された水をご使用ください。)
 - ・電気・給水の供給トラブル・凍結などによる故障および損傷。
- 一般家庭用以外(例えば、業務用に使用、車両、船舶などへ備品として搭載、食品保存や機器の冷却など)に使用された場合の故障および損傷。
- 浴室など湿気の多い場所や他の機器の影響(振動、ノイズ、配線、その他)による故障および損傷。
- 降雪地で小屋がけしないで屋外に設置し、雪による故障および損傷。
- ねずみ・カエル・ヤモリなどの動物の行為に起因する不具合。
- 経年変化または通常の使用損傷により発生する不具合。(音、振動、錆、傷、塗装の脱色など機能に影響のない範囲内の感覚的な現象の場合。)
- 当社指定の別売部品を使用しなかったことが原因で不良となった場合。
- 台所リモコンに水をかけた場合。(台所リモコンは防水タイプではありません。水をかけると故障の原因になります。また浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけたりしないでください。)
- 機器の故障に起因した水道代、電気代、風呂代、営業補償などの二次被害への補償はいたしません。また、機器の故障の有無によらず、防水や排水の処理をされていない床面に設置された場合の水漏れによる二次被害への補償もいたしません。
- 決められた電源以外でご使用された場合、あるいは海外で使用した場合。(この製品は日本国内専用です。)
- 機器以外の接続配管や配線、水栓などの故障、およびこれが原因で本体不良となった場合。
- お手入れ不足による汚れや詰まり、およびこれが原因で本体不良となった場合。
- 試運転や点検、操作・取扱方法のご説明要望など、機器の故障ではない場合。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店または工事店へご相談ください。
販売店または工事店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝電気給湯機ご相談センター

お電話・FAXをいただく際には、番号をお確かめのうえ
おかけ間違いのないようにお願いします。



トウシバ
0120-1048-19

受付時間:365日 24時間電話でお応えします。

携帯電話・PHS など 03-5365-7420 (通話料:有料)

FAX 0947-32-2892 (通信料:有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書(別添)

- この東芝ヒートポンプ給湯機には、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店(工事店)名」などの記入をお確かめのうえ、販売店(工事店)から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝ヒートポンプ給湯機の保証期間は、お買い上げいただいた日から5年です。(ただし、消耗部品は2年間です)
- その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電しゃ断器を「切」にし、給水止水栓を閉じてからお買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理は専門の技術が必要です。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理すれば使用できる場合にはご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

出張修理

■ご連絡いただきたい内容

品名	ヒートポンプ給湯機
システム形名	HWH-□□□□□□□□
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店(工事店)名を記入されておくと便利です。 TEL.

★長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！



愛情点検

このような
症状は
ありませんか。

- お湯の出が悪い。●お湯が早くなる。
- 逃し弁の逃し管から昼間、常にお湯が流れている。
- 設置場所が常にぬれている。
- 時々、漏電しゃ断器が働く。
- その他の異常、故障がある。

ご使用中
止

故障や事故防止のため、漏電しゃ断器を「切」にし、給水止水栓を閉じてから、必ずお買い上げの販売店(工事店)に点検修理(有料)をご相談ください。

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地
<http://www.toshiba-carrier.co.jp/>



EF99910301-2